

東京放射線

Tokyo Association of Radiological Technologists

2026年
2月号
Vol.73 No.846

巻頭言

「受 験」 木暮陽介

会 告

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第79回総会（臨時）
2025年度多摩支部研修会
第20回ペイシェントケア学術大会

お知らせ

2025年度第8地区研修会
2025年度第12地区研修会
2025年度第6地区研修会
2025年度第10地区研修会

総会資料

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第79回総会（臨時）資料

連 載

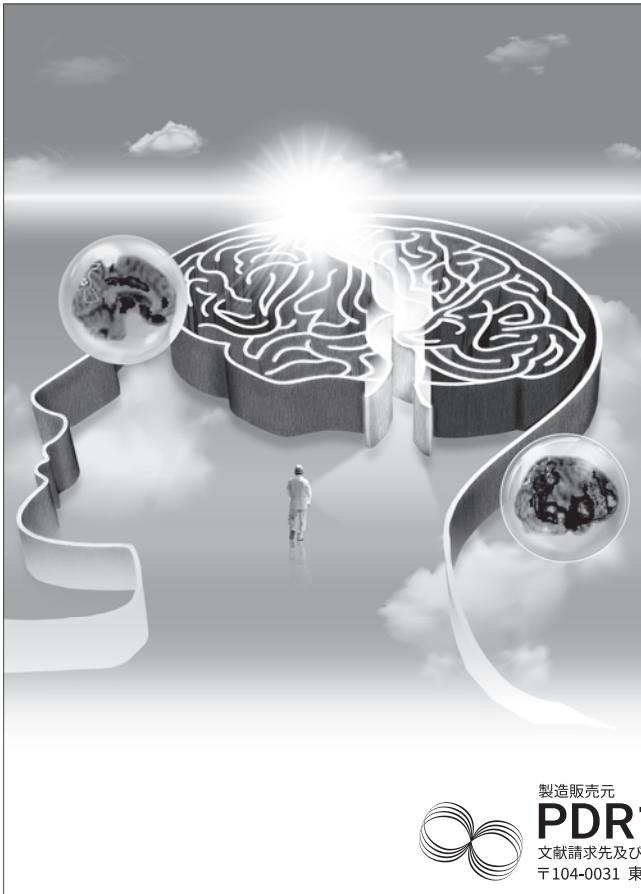
[消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査
第28回 0型（表在型）大腸腫瘍～0-IIc（表面陥凹型）について～ 安藤健一
災害対策委員会 座談会 「災害対策マニュアルの作り方を学ぼう」
第二部「アクションカードを作ろう」 3. アクションカードを利用した実動訓練

こ え

2025年度城北支部研修会報告
2025年度第4地区研修会報告



公益社団法人東京都診療放射線技師会
<https://www.tart.jp/>



放射性医薬品／局所脳血流診断薬 薬価基準収載
処方箋医薬品^{注1)}

ニユーロライト®注射液 第一

放射性医薬品基準
〔N,N'-エチレンジ-L-システィネート(3-)〕オキソテクネチウム(^{99m}Tc), ジエチルエステル注射液
技術提携先 : Lantheus Medical Imaging, Inc.(米国)

放射性医薬品／局所脳血流診断薬 薬価基準収載
処方箋医薬品^{注1)}

ニユーロライト® 第一

放射性医薬品基準
〔N,N'-エチレンジ-L-システィネート(3-)〕オキソテクネチウム(^{99m}Tc), ジエチルエステル注射液 調製用
輸入先 : Lantheus Medical Imaging, Inc.(米国)

放射性医薬品／局所脳血流診断薬 薬価基準収載
処方箋医薬品^{注1)}

イオフェタミン(¹²³I)注射液「第一」

放射性医薬品基準 塩酸N-イソプロピル-4-ヨードアンフェタミン(¹²³I)注射液

注1)注意—医師等の処方箋により使用すること。

※効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等について電子添文をご参照ください。



製造販売元
PDRファーマ株式会社
文献請求先及び問い合わせ先
〒104-0031 東京都中央区京橋2-14-1 兼松ビルディング
TEL 03-3538-3624

2022年9月作成

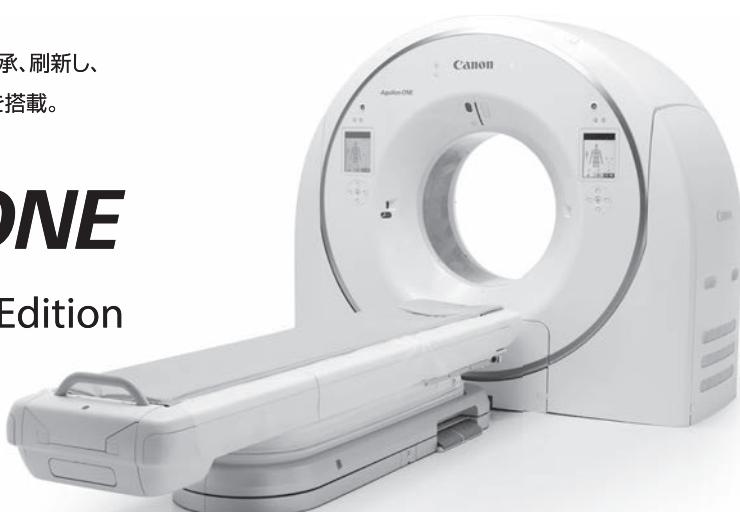
Canon

医療の本質を見抜く、High Resolution ADCT。

Area Detector CT「Aquilion ONE」と、
高精細 CT「Aquilion Precision」で培った技術を継承、刷新し、
超解像画像再構成技術とAIを活用した自動化技術^{※1}を搭載。

Aquilion ONE

INSIGHT Edition



※1 自動化技術: 設計の段階で AI技術を使用しており、本システムは自己学習機能を有しておりません。
【一般的名称】全身用X線CT診断装置 【販売名】CTスキャナ Aquilion ONE TSX-308A 【認証番号】305ACBZX00005000

B000893

目 次

スローガン

チーム医療を推進し、

国民及び世界に貢献する

診療放射線技師の育成

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言「受 験」	3
会告1 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第79回総会（臨時）	4
会告2 2025年度多摩支部研修会	5
会告3 第20回ペイシェントケア学術大会	6
会告4 2025年度第1回災害対策研修会	12
会告5 2025年度城西支部研修会	13
会告6 2025年度城南支部研修会	14
お知らせ1 2025年度第8地区研修会	15
お知らせ2 2025年度第12地区研修会	16
お知らせ3 2025年度第6地区研修会	17
お知らせ4 2025年度第10地区研修会	18
お知らせ5 2025年度第7地区研修会	19
公益社団法人東京都診療放射線技師会 第79回総会（臨時）資料	20
連 載 [消化管造影検査] 第5部 大腸・注腸X線検査	
第28回 0型(表在型)大腸腫瘍～0-IIc(表面陥凹型)について～	安藤健一 25
連 載 災害対策委員会 座談会 「災害対策マニュアルの作り方を学ぼう」	
第二部「アクションカードを作ろう」 3.アクションカードを利用した実動訓練	33
こ え	
・2025年度城北支部研修会を開催して	関谷 薫 37
・2025年度城北支部研修会講演を聴いて	大貫弘二 38
	伊佐理嘉 39
・2025年度第4地区研修会開催報告	40
・第4地区研修会印象記	杉浦美紀 40
・「やってる風エコーでも難しい」	佐藤知真 41
2025年4月～12月期会員動向	41
パイプライン	
・日本診療放射線技師連盟ニュース (2025 No.9)	42
2025年度第8回理事会報告	43
研修会等申込書	47
Column & Information	
・東放技入会無料のお知らせ	48

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心で安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人東京都診療放射線技師会

卷頭言

「受験」



業務執行理事 木暮陽介

受験シーズン到来である。今、娘が高校受験であるが、昔と違い、今は推薦基準である内申点を満たせば、一発勝負のプレッシャーがなく、早期に進路が決定する単願推薦や併願推薦が推奨される。つまり、日頃からの学ぶ姿勢や実績が評価される時代となってきたのだ。また、2021年度大学入試においては、一般選抜より総合型選抜+学校推薦型選抜が初めて上回った。これは、定員割れを起こす大学が増える中、早い段階で合格者を確保しておきたいという大学側の事情もあるだろうが、総合型選抜や学校推薦型選抜で入学した学生の就学後の伸びが著しい傾向が見られることから、実績を重視した結果といえる。同時に、高校時代の探究活動の成果を活かしたいといった高校側の期待もあるだろう。学生として学んできたことや学ぶ姿勢の日々の積み重ねは、本人の持つ「力の土台」となり、今後のキャリアを支える「基礎体力」となるのではないかと考える。これからの時代、単に知識量が多いだけではなく、目の前の問題に対して周囲と協力しながら、AI等を活用し、判断し、答えを導いていく力が重視される傾向にある。それ故に、「基礎体力」の充実、応用、深化、そして他者と創り出すシナジーが重要になってくるのだといえる。

2026年2月19日、第78回診療放射線技師国家試験が開催される。昨年から改定された主題基準が適用され、基礎医学大要、理工学・放射線科学、エックス線撮影機器学、エックス線撮影技術学、診療画像検査学、核医学診療技術学、放射線治療技術学、画像工学、医療画像情報学、放射線安全管理学、医療安全管理学の全200問となっており、2025年は3,729人が受験し3,159人が合格、合格率は84.7%となっている。「代表的な異常所見及び緊急対応を要する画像所見」が教育内容に追記されたように、より臨床に即した知識が求められる傾向にある。

思い返すと、私自身も約30年前に診療放射線技師養成校受験、国家試験、就職採用試験等いくつもの受験や試験を乗り越えてきた。職場はもちろん、就職した年から職場の先輩方に誘われるまま入会した技師会、技術学会の活動を通して知り合えた人脈のお陰で、学会発表も経験し、博士号まで取得することができ、多職種連携による医療安全の醸成を育むことができた。それこそ自身の基礎体力の応用、深化、シナジーへと循環しながら繰り返した結果だと自負している。

数々の受験や国家試験に合格し、診療放射線技師になり、就職してそれで終わりでなく、積み重ねた基礎体力を活かし、継続的な努力を惜しむことなく、将来を担っていってほしいと切に願うと共に、自身も初心に立ち返り、襟を正す気持ちになった。そして後輩に我々ができるることは、安全性の高いチームを構築するとともに職域拡大を促進し、魅力ある医療専門職になることである。

会 告

1

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第79回総会（臨時）

会員の皆さんにおかれましては、本会事業に対しましてご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。
さて今回、令和7年公益法人制度改革（公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律）に伴い、
理事のうち最低1人以上を外部理事に選任することが公益認定の基準となりました。
この新基準を満たすため、定款の理事定員の変更及び外部理事に関する規程の改正を行うこととし、
本会定款及び規程に則り、下記のように臨時総会を開催する運びとなりました。
代議員の皆さまのご理解ご協力をお願いいたします。

記

開催日時：2026年2月5日（木）18時30分～

開催方式：Web開催（Zoom）

総会次第

第1号議案：定款改正（案）

第2号議案：役員報酬規程改正（案）

*代議員の皆さまのスケジュール調整をお願いいたします。

以上

公益社団法人東京都診療放射線技師会

会長 江田 哲男

2025年度 多摩支部研修会（Web開催）

テーマ「STAT画像所見報告の現状と実症例から学ぶ画像を見る力」

①STAT画像所見報告体制の構築

講師：市立青梅総合医療センター 放射線科 藤原 功規 氏

②実例をもとにした画像確認と対応

講師：公立昭和病院 放射線科 吉村 良 氏

2024年、「診療放射線技師へのタスク・シフト／シェアのためのガイドライン」が発表されました。

ご存知の通り、STAT画像とは、生命予後に関わる緊急性の高い疾患が疑われる画像を指し、診療放射線技師が撮影直後に異常所見を認識し、速やかに医師へ報告する体制が求められています。

しかしながら、報告体制の整備状況や運用方法、読影支援の質には施設間で差があり、「誰が・いつ・どのように」報告するかという基本的な仕組みも、未だ模索中の部分が多く見受けられます。

本企画では、STAT画像所見報告の「現状」と「課題」を共有し、症例を通じて実践的な対応力を高めることを目的としています。今後の運用改善や教育体制の構築に向けた議論のきっかけとなる研修会だと思っております。

多くの方々のご参加をお待ちしております。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをインストールのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2026年2月19日（木）19時00分～20時15分

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：100名（先着順）

受講料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、左下のQRコード、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2025年2月14日（土）

問い合わせ：多摩支部委員会 E-Mail：shibu_tama@tart.jp

第13地区委員長（多摩支部委員長） 鮎川幸司

第12地区委員長 吉村 良

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724



以上

第20回ペイシエントケア学術大会

テーマ「つながり、支え合う医療を目指して」

午前中は一般演題を実施し、ランチョンセミナーでは「震災から15年」を振り返ります。午後には特別講演、教育講演、そして都民公開講座を企画しております。

本大会は、診療放射線技師としての知識と技術を一層深め、患者様の利益と満足度の向上につなげることを目的として開催いたします。実行委員一同、皆さまにとって有意義な大会となるよう、全力で準備を進めております。

本大会を通じて、多くの皆さまと貴重な情報を共有できることを、心より願っております。

※大会参加者のうち希望される方を対象に、「ワクチン筋注行為に関する実技講習会」を開催いたします。

詳細は右記をご参照ください。 https://www.jart.jp/news/topics/20251016_1584.html

記

日 時：2026年2月28日（土）9時00分～16時15分（受付開始9時00分～）

場 所：一橋大学 一橋講堂 2階 中会議室

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2-1-2

アクセス：東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線 神保町駅（A8・A9出口）徒歩4分

東京メトロ東西線 竹橋駅（1b出口）徒歩4分

定 員：200名 ※当日参加は可能ですが、ランチョンセミナーを開催するためフードロス削減にご理解をいただくとともに、一週間前までの事前登録をお願いいたします。

受 講 料：診療放射線技師 2,000円、一般・学生・その他医療従事者 無料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、左下のQRコード、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2026年2月28日（土）

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



～ プログラム ～

09:00 受付開始

09:30～09:40 開会式

【開会のあいさつ】 東京都診療放射線技師会 会長 江田 哲男

09:45～11:50 一般演題 会場1 会場2

【座長】 東京都診療放射線技師会 学術委員会

12:05～13:10 ランチョンセミナー

【座長】 東京都診療放射線技師会 学術委員長 市川 篤志

「たんぽぽプロジェクトに参加して」

【講師】 国立病院機構 渋川医療センター 立木 崇文

「2011.3.11を忘れないために～福島第一原子力発電所事故～」

【講師】 東京都診療放射線技師会 教育委員長 市川 重司

13:20～14:05 特別講演（入会促進委員会企画）

【座長】 東京都診療放射線技師会 副会長 関 真一

「入会促進活動を通して繋がりを広げ、そして医療へ」

【講師】 東京都診療放射線技師会 入会促進委員長 中尾 愛

「Z世代診療放射線技師をどう育てるか～世代をつなぐ教育と心理学の視点から」

【講師】 杏林大学 保健学部診療放射線学科 森 美加

14:15～15:00 教育講演（国際委員会企画）

【座長】 東京都診療放射線技師会 副会長 野口 幸作

「国際委員会活動について」

【講師】 東京都診療放射線技師会 国際委員長 桐 洋介

「海外発表の第一歩」

【講師】 赤坂山王メディカルセンター 渡邊 真弓

15:10～16:00 都民公開講座

「“遊び”と“学び”で変える小児医療～子どもと家族に寄り添うNPOの取り組み～」

【座長】 東京都診療放射線技師会 会長 江田 哲男

【講師】 NPO法人 Medical PLAY 村田 渉

16:00～16:15 閉会式

【閉会のあいさつ】 東京都診療放射線技師会 副会長 浅沼 雅康

※大会参加者のうち希望される方を対象に、『ワクチン筋注行為に関する実技講習会』を開催いたします。
詳細は右記をご参照ください。 https://www.jart.jp/news/topics/20251016_1584.html

～一般セッションプログラム～

一般セッション1（口述発表）第1会場：業務改善・接遇 09:45～10:45

座長：公立昭和病院 圓城寺純至

座長：東邦大学医療センター大橋病院 皆川 智哉

- 1 渋谷区・港区における若手診療放射線技師連携による将来像の明確化 北里研究所病院 秦 広弥
- 2 北多摩における診療放射線技師の勤務管理に関するアンケート報告 公立昭和病院 五十嵐弘樹
- 3 整形外科クリニックでの業務改善と経営貢献の取り組み ぜんしん整形外科 清水 賢均
- 4 知りたい！教えた！患者接遇 独立行政法人国立病院機構 東京医療センター 斎藤 郁里
- 5 胸部単純撮影での掲示物を用いた更衣説明のわかりやすさ向上を目指した取り組み 東京都健康長寿医療センター 石田 稔
- 6 演題取り消し

一般セッション3（口述発表）第1会場：医療安全 10:50～11:50

座長：東京医科大学病院 岡本 淳一

座長：JCHO東京山手メディカルセンター 多々良直矢

- 7 造影CT検査における血管外漏出に対する予防策と造影剤漏れ検知システムの使用経験について 関東労災病院 元島 祐介
- 8 MRI検査での造影剤アレルギー発生時に備えたシミュレーション実施と参加者アンケートによる有用性の評価 東邦大学医療センター大森病院 大津 元春
- 9 検査施行上、考慮が必要なデバイス植込みまたは装着患者に対する検査運用について 日本大学病院 釘井 玲雄
- 10 当院における医療安全の取り組み 公立福生病院 医療技術部 山中 真悟
- 11 移乗介助具の違いにおける快適度および安全性の検討 東邦大学医療センター大橋病院 渡邊 里彩
- 12 造影剤副作用における初期対応訓練の取り組みと評価 JCHO東京山手メディカルセンター 横手 修平

一般セッション2（口述発表）第2会場：技術報告	09:45～10:45	座長：慶應義塾大学病院 南島 一也
		座長：日本大学医学部附属板橋病院 比内 聖紀
13 フォトンカウンティングCTにおける仮想単純画像の特性評価	東京科学大学病院 吉田光一郎	
14 Dual Energy Computed Tomographyにおける被ばく低減の為の基礎的検討	博慈会記念総合病院 佐久間啓太	
15 当院での不整脈治療における画像手術支援の取り組み	東京医科大学八王子医療センター 上澤 敦	
16 DRL2025に基づく循環器用X線診断装置の線量評価と最適化への取り組み	東京科学大学病院 岩崎 雄亮	
17 当院における胸部X線画像診断支援AIの使用経験	公立福生病院 永野 敬悟	
18 再撮影低減を目指して	東川口病院 小川 翼	
一般セッション4（口述発表）第2会場：運用	10:50～11:50	座長：ニューハート・ワタナベ国際病院 小川 茂行
		座長：東京臨海病院 寺嶋 元一
19 当院における心臓カテーテル検査でのタスク・シフト/シェアの取り組み	松戸市立総合医療センター 工藤 周耶	
20 当院における心臓カテーテル室の新人教育プログラムについて	東京医科大学病院 井関理南子	
21 当院で行っている既読・未読システムを用いた読影所見の確認漏れ対策と緊急・重要所見の対応	医療法人社団哺育会 浅草病院 大河内 賢	
22 当院における報告書管理体制加算に関わる診療放射線技師の役割	東京都医療保健協会 練馬総合病院 澤田 恒久	
23 画像サーバー故障時の対応	京葉病院 富丸 佳一	
24 生殖腺遮蔽に関する施設間の実態調査	JCHO東京山手メディカルセンター 神山 和明	

第20回 ペイシエントケア学術大会

テーマ：つながり、支え合う医療を目指して

- ・一般演題（第1会場・第2会場）
【座長】 東京都診療放射線技師会 学術委員会
- ・ランチョンセミナー
【座長】 東京都診療放射線技師会 学術委員長 市川 篤志
「たんぽぽプロジェクトに参加して」
【講師】 渋川医療センター 立木 崇文
「2011.3.11を忘れないために～福島第一原子力発電所事故～」
【講師】 東京都診療放射線技師会 教育委員長 市川 重司
- ・特別講演
【座長】 東京都診療放射線技師会 副会長 関 真一
「入会促進活動を通して繋がりを広げ、そして医療へ」
【講師】 東京都診療放射線技師会 入会促進委員長 中尾 愛
「2世代診療放射線技師はどう育てるか～世代をつなぐ教育と心理学の視点から」
【講師】 杏林大学 保健学部診療放射線学科 森 美加
- ・教育講演
【座長】 東京都診療放射線技師会 副会長 野口 幸作
「国際委員会活動について」
【講師】 東京都診療放射線技師会 国際委員長 桐 洋介
「海外発表の第一歩」
【講師】 赤坂山王メディカルセンター 渡邊 真弓
- ・都民公開講座
【座長】 東京都診療放射線技師会 会長 江田 哲男
「“遊び”と“学び”で変える小児医療～子どもと家族に寄り添うNPOの取り組み～」
【講師】 NPO法人 Medical PLAY 村田 渉

※大会参加者のうち希望される方を対象に、『ワクチン筋注行為に関する実技講習会』を開催いたします。
詳細は右記をご参照ください。 https://www.jart.jp/news/topics/20251016_1584.html

参加費：診療放射線技師 2,000円

一般・他職種 無料

当日参加も可能ですが事前登録をお願いいたします

開催日：2026年2月28日（土）

9:00～16:15

場 所：一橋大学 一橋講堂 2階中会議室

〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2-1-2

お問い合わせ

公益社団法人 東京都診療放射線技師会事務所

TEL 03-3806-7724 Mail : gakujitu@tart.jp

主催：公益社団法人 東京都診療放射線技師会



都民公開講座

第20回 ペイシエントケア学術大会

テーマ：つながり、支え合う医療を目指して

参加費：一般および他職種 無料

※診療放射線技師参加費：2,000円

開催日 2026年2月28日（土）

開場 15:00

【時間】15:10～16:00

“遊び”と“学び”で変える小児医療
～子どもと家族に寄り添うNPOの取り組み～

【講師】 NPO法人 Medical PLAY
村田 渉 先生

会場：一橋大学 一橋講堂 2階 中会議室
〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋2-1-2

アクセス：東京メトロ半蔵門線、都営三田線、都営新宿線 神保町駅
(A8・A9出口) 徒歩4分
東京メトロ東西線 竹橋駅 (1b出口) 徒歩4分

お問い合わせ 公益社団法人 東京都診療放射線技師会事務所
TEL 03-3806-7724 Mail : gakujitu@tart.jp

主催 公益社団法人 東京都診療放射線技師会



会 告

4

2025年度 第1回災害対策研修会（会場開催）

テーマ「緊急被ばく医療研修会～3.11を風化させないために～」

講師：災害対策委員会委員

東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故にあたり、（公社）東京都診療放射線技師会では、発災直後の被災地におけるサーベイ活動、都内避難所における放射線サーベイボランティア活動など、放射線専門の職能団体として活動を行いました。これらの活動・経験を語り継ぎ風化させないために、今年度も研修会を企画しました。

今年度はサーベイメータの特性とサーベイ方法等について実習を実施し、サーベイヤーの育成を図りたいと思います。皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム

～サーベイメータの特性とサーベイ方法～

1. 緊急被ばく医療（原子力災害時医療）について
2. サーベイメータの基本特性
3. クイックサーベイ

記

日 時：2026年3月14日（土）13時00分～16時30分（受付開始12時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

開 催 方 式：会場開催

定 員：20名（先着順）

受 講 料：会員 1,000円、非会員 5,000円（当日徴収）

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方 法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、左下のQRコード、
または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育3.0カウント付与

申込締切日：2026年3月6日（金）

問い合わせ：災害対策委員長 渡辺靖志 E-Mail：sr-saigai@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



* 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

2025年度 城西支部研修会（Web開催）

テーマ「診療放射線技師に必要なフィジカルアセスメントと検査データ判読の実践」

講師：社会医療法人財団 聖フランシスコ会 姫路メディカルシミュレーションセンターひめマリア
エグゼクティブマネージャー 田中 宏治 氏

放射線科や救急センター、ICU/CCUなどの集中治療室では、診療放射線技師が患者の状態を把握するために、撮像現場や事前に必要な情報を収集することが不可欠です。本講演では、患者のバイタルサイン（生命徵候）やフィジカルアセスメント（身体的評価）、そして生理系の検査データをどのように収集・解析して診療繋げていくことを解説いたします。ぜひご参加ください。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをインストールのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。
本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2026年3月16日（月）19時00分～20時30分（受付開始18時45分～）

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：80名（先着順）

受 講 料：会員 1,000円、非会員 1,000円

一般・学生・新卒かつ新入会員* 無料

申込方法：下記のURLまたはQRコードよりお申し込みください。

https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=3967236673917779&EventCode=P353548596



申込締切日：2026年3月14日（土）

問い合わせ：城西支部委員長 布川嘉信 E-Mail：shibu_jousai@tart.jp

第9地区委員長 西郷洋子

第10地区委員長 澤田恒久

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

会 告



2025年度 城南支部研修会（会場開催）

テーマ「画像工学の視点から見たAIと画像再構成の現状と未来」

講師：東邦大学医療センター大橋病院 皆川 智哉 氏

近年、AIや画像再構成を中心に医用画像工学は驚くほどのスピードで進化しており、私たちの臨床現場にもその波が押し寄せています。いまではAIが画像を「きれいにする」だけでなく、「どう作るか」そのものを変えつつあります。一方で、工学系の学会では深層学習再構成の進化や大規模言語モデルの応用、さらには“再構成をしないイメージング”といった、現場ではまだ想像しにくい最先端技術も登場しています。こうした流れを理解する鍵は、AIと画像再構成に共通する“画像工学の基礎”です。理論や考え方を知ることで、日々の撮影や画像評価にも新たな視点が生まれます。

今回の城南支部研修会では、放射線技師として画像工学分野でもご活躍されている東邦大学医療センター大橋病院 皆川智哉 先生を講師にお招きし、現在の臨床におけるAIや画像再構成技術の現状から、画像工学分野の動向やホットな話題、これから臨床に導入される可能性のある最新技術まで紹介していただきます。

「AIの進化をどう自分の業務に活かすか」そのヒントを見つけに、ぜひご参加ください。

記

日 時：2026年3月19日（木）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

場 所：東邦大学医療センター大橋病院 臨床講堂（1F）

東京都目黒区大橋2-22-36

ア ク セス：東急田園都市線「池尻大橋」駅 北口 徒歩3分

京王井の頭線「駒場東大前」駅 西口 徒歩10分

定 員：70名程度（先着順）

受 講 料：会員 1,000円、非会員 5,000円

新卒かつ新入会員* 一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2026年3月12日（木）

問い合わせ：第11地区委員長 名古安伸 E-Mail：areall@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724



アクセス



院内マップ

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

2025年度 第8地区研修会（会場開催） テーマ「一般撮影を再発掘してみた」

講 師：IMSグループ 明芳会イムス葛飾ハートセンター 米澤 俊和 氏

本年度の第8地区研修会は、一般撮影に関する講義を企画しました。様々な研究会等でご活躍されておりますイムス葛飾ハートセンターの米澤俊和先生を講師にお招きし、一般撮影を多角的な視点で捉え考えられた撮影や気付かなかった撮影に関するコツなどを伝授していただきます。皆様の一般撮影に対する考え方方が良い方向に変化していただける良い機会と考えております。

ご施設でもお声がけいただき、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

本会終了後に情報交換会を企画しております。参加希望の方は参加申し込みフォームの備考欄に【参加希望】と入力してください。

記

日 時：2026年2月14日（土）16時00分～17時15分（受付開始15時45分～）

場 所：東邦大学医療センター大森病院 臨床講堂（5号館地下1階）

東京都大田区大森西6-11-1

ア ク セス：京浜急行線 梅屋敷駅から徒歩約7分（各駅停車にご乗車ください）

JR蒲田駅からバス約4分

（東口2番バス乗り場から「大森駅」行きに乗車「東邦大学」下車）

JR大森駅からバス約12分

（東口1番バス乗り場から「蒲田駅」行きに乗車「東邦大学」下車）



広域地図



周辺地図

定 員：50名

受 講 料：会員 500円、非会員 1,000円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム。

申込締切日：2026年2月13日（金）

問い合わせ：第8地区委員長 大津元春 E-Mail：area08@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

お知らせ

2

2025年度 第12地区研修会 (Web開催)

テーマ「不整脈に対するデバイス治療 ～診療放射線技師が知りたい基礎知識～」

講 師：社会医療法人財団 大和会 東大和病院 臨床工学室 西原 圭一郎 氏

皆さまは業務中に心電図モニタの画面をちらっと見て、「心拍数がずっと同じ数値の60で安定しているな。ペースメーカーでも入っているのかな？」と横目にする経験はないでしょうか？

その他にも、胸部レントゲンやMRIの体内金属チェックなど、臨床現場で数多くの心臓植込み型デバイスを目にする機会があると思います。

近年、不整脈に対する心臓植込み型デバイスの種類や機能も多様化し、画像検査部門においても安全管理や適切な対応が求められています。本講演では、その中でも代表的な治療であるペースメーカーを中心に、ICDやCRTなどデバイスの適応や特徴、MRI対応機種についての注意点など、日常業務に直結する内容を中心に臨床工学士の立場からわかりやすく解説していただきます。

今回の講義は心電図波形を中心とした内容ではなく、その一歩先にある“不整脈に対するデバイス治療”の基礎講義となります。

是非、新人の方からベテランの方まで、多くの方々のご参加をお待ちしています。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをインストールのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2026年3月3日（火）19時00分～20時00分

開催方式：Web開催（Microsoft Teams）

定 員：100名

受 講 料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、左下のQRコード、
または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

申込締切日：2026年2月20日（金）20時00分

問い合わせ：第12地区委員長 吉村 良 E-Mail：areal2@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724



本イベントは月初開催のため、開催月である3月号に掲載されません。

今号またはホームページをご覧の上ご参加ください。

以上

2025年度 第6地区研修会（ハイブリッド開催）

テーマ「上部消化管造影検査の基礎と応用」

講 師：東葛病院 安藤 健一 氏

上部消化管造影検査を取り巻く環境は大きく変化しています。専門読影医の不足や、撮影を担う私たち診療放射線技師の高齢化・人手不足が進む中、「質の高い検査レベルをいかに維持し、向上させるか」が喫緊の課題となっています。本研修会では、この課題に応えるべく、東葛病院の安藤健一氏をお招きし、単なる技術論に留まらない、実践的かつ未来志向の内容でご講演いただきます。変化する医療現場において、私たち技師に求められる役割を再確認し、専門性を高める絶好の機会です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをインストールのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。
本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2026年3月6日（金）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

開 催 方 式：ハイブリッド開催（Zoom）

定 員：現地参加 20名 Web参加 80名（先着順）

受 講 料：診療放射線技師 500円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方 法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム、下記URLまたは下記QRコードよりお申し込みください。

https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=3967236673917779&EventCode=P689408016



申込締切日：2026年2月28日（土）

問い合わせ：第6地区委員長 伊佐理嘉 E-Mail：area06@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

お知らせ

4

2025年度 第10地区研修会 (Web開催)

テーマ「医療現場における信頼と安心を守るために」
～医療現場で不適切行為を起こさせない視点と現場対応の構築にむけて～

講 師：株式会社パラメディカル

ゼネラルマネージャー・診療放射線技師 小西 智誠 氏

講 師：株式会社ドッグエンタープライズ Wcプロジェクト

プロジェクトリーダー 山内 千春 氏

医療現場における安心・安全と社会的信頼を守ることは、すべての医療従事者に共通する重要な責務です。本研修会では、プライバシー侵害を伴う不適切な撮影行為を未然に防ぐための視点と、同様の行為が疑われた場合の現場での適切な対応をどのように構築していくかについて学びます。日常業務の中で起こり得るリスクを具体的な事例をもとに提示し、点検項目の整備や対応手順の構築の提案、被害を受けた可能性のある方への配慮の在り方などを共有します。さらに、専門職としての倫理や価値観の醸成を通じ、問題が起きてから対処するのではなく起こさないために何が必要かという視点からも捉え、加害者を生まない環境づくりについても考えます。本研修を通じて、職員同士が連携し、より安心できる医療現場を実現するための実践的なヒントを持ち帰っていただくことを目的としています。皆様の参加をお待ちしております。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをインストールのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2026年3月10日（火）19時00分～20時30分

開催方式：Web開催（Zoom）

定 員：50名（先着順）

受 講 料：無 料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、左下のQRコード、
または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

参加人数に上限がありますのでお早めにお申し込みください。

申込締切日：2026年2月28日（土）

問い合わせ：第10地区委員長 澤田恒久 E-Mail：area10@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724



以上

2025年度 第7地区研修会（ハイブリッド開催）

テーマ「海外で活躍する診療放射線技師から学ぶ、新しい視点と挑戦」

講 師：順天堂大学大学院 医学研究科 グローバルヘルスリサーチ 熊谷 優季 氏
東京医科大学八王子医療センター 菊池 悟 氏

第7地区研修会ではJICA海外協力隊としてタイで活動され、さらにアジア5カ国での国際協力経験をお持ちで異なる文化や医療環境の中で、多様な課題に向き合いながら、診療放射線技師としての専門性を生かして国際貢献を続けてこられた熊谷氏と東京都診療放射線技師会国際委員会副委員 菊池氏をお迎えし、国際協力の現場で実際に感じた診療放射線技師の必要性や、グローバルヘルス分野で求められる役割についてご講演いただきます。現場で得た知見をもとに、診療放射線技師として国際的に活躍するためのスキルやマインドセット、今後の可能性についてご紹介いただく予定です。

オンライン開催では、セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、使用するWebソフトの最新バージョンをインストールのうえご参加ください。

ご参加の際は必ず申込者名でご入室ください。申込者名でない場合はご退出いただく場合があります。
本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2026年3月13日（金）19時00分～20時00分（受付開始18時30分～）

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

開 催 方 式：ハイブリッド（Zoom）

定 員：100名（Web）40名（会場）（先着順）

受 講 料：診療放射線技師 会員 500円、非会員 500円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方 法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム、または下記QRコードよりお申し込みください。



申込締切日：2026年3月10日（火）

問い合わせ：第7地区委員長 富丸佳一 E-Mail：area07@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

※ 新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう。

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第79回総会（臨時）資料

第1号議案 定款改正（案）

現 行	改正後	
<p>公益社団法人東京都診療放射線技師会 定款</p> <p>（会員の権利）</p> <p>第6条 正会員は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成18年法律第48号）（以下、「法人法」という。）に規定された次に掲げる社員の権利を、社員と同様に<u>当法人</u>に対して行使することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 法人法第14条第2項の権利（定款の閲覧等） (2) 法人法第32条第2項の権利（社員名簿の閲覧等） (3) 法人法第57条第4項の権利（社員総会の議事録の閲覧等） (4) 法人法第50条第6項の権利（社員の代理権証明書面等の閲覧等） (5) 法人法第51条第4項及び第52条第5項の権利（議決権行使書面の閲覧等） (6) 法人法第129条第3項の権利（計算書類等の閲覧等） (7) 法人法第229条第2項の権利（清算法人の貸借対照表等の閲覧等） (8) 法人法第246条第3項、第250条第3項及び第256条第3項の権利（合併契約等の閲覧等） <p>（会員資格の喪失）</p> <p>第11条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 第8条の支払義務を2年以上履行しなかったとき (2) 総会にて決議されたとき (3) 当該会員が死亡、又は団体においては解散したとき (4) 診療放射線技師又は診療エックス線技師の免許を取り消されたとき 	<p>公益社団法人東京都診療放射線技師会 定款</p> <p>第6条 正会員は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（平成18年法律第48号）（以下、「法人法」という。）に規定された次に掲げる社員の権利を、社員と同様に<u>この法人</u>に対して行使することができる。</p>	文言修正
<p>第11条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 第8条の支払義務を2年以上履行しなかったとき (2) 総会にて決議されたとき (3) 当該会員が死亡、又は団体においては解散したとき (4) 診療放射線技師又は診療エックス線技師の免許を取り消されたとき 	<p>第11条 第9条及び第10条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。</p>	文言修正

現 行	改正後	
<p>(代議員及び予備代議員の設置)</p> <p>第12条 第5条の正会員のうち、<u>概ね</u>地区会員30人から1人の割合で選出される代議員をもって法人法上の社員とする。また、端数が15人以下のときは切り捨て、<u>その端数が16人超</u>のときは1人に切り上げることとする。</p> <p>2 代議員が欠けた場合又は代議員の員数を欠くこととなるときに備えて、地区から1人を予備代議員として選出することができる。</p>	<p>(代議員及び予備代議員の設置)</p> <p>第12条 第5条の正会員のうち、地区会員30人から1人の割合で選出される代議員をもって法人法上の社員とする。また、端数が15人以下のときは切り捨て、16人超のときは1人に切り上げることとする。</p>	文字削除 文字削除
<p>(代議員及び予備代議員の選出)</p> <p>第13条 代議員及び予備代議員は、正会員による代議員選挙により選出する。</p> <p>2 代議員及び予備代議員は、正会員の中から選ばれることを要する。正会員は、前項の代議員選挙に立候補することができる。</p> <p>3 第2項の代議員選挙において、正会員は他の正会員と等しく代議員及び予備代議員を選出する権利を有する。</p> <p>4 理事又は理事会は、代議員及び予備代議員を選出することはできない。また、代議員及び予備代議員は、定款第25条に規定する役員を兼ねることはできない。</p> <p>5 第2項の代議員選挙に関する事項は別に定める「<u>代議員及び予備代議員選出規程</u>」による。</p> <p>6 予備代議員を選挙する場合には、当該候補者が予備の代議員である旨も併せて決定しなければならない。</p>	<p>3 前項の代議員選挙において、立候補者は他の正会員と等しく代議員及び予備代議員を選出する権利を有する。</p> <p>5 第2項の代議員選挙に関する事項は別に定める。</p>	文言修正 文字削除
<p>(決議)</p> <p>第22条 総会の決議は、出席した当該代議員の議決権の過半数をもって行う。</p> <p>2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総代議員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。</p> <p>(1) 会員の除名 (2) 監事の解任 (3) 定款の変更 (4) 解散 (5) その他法令で定められた事項</p> <p>3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事</p>	<p>3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の</p>	文字削除

現 行	改正後	
<p>の候補者の合計数が第25条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。</p> <p>(委任状等)</p> <p>第23条 やむを得ない理由のため総会に出席できない代議員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって他の代議員を代理人として議決権の行使を委任することができる。</p> <p>2 前項の場合における前条の規定の適用については、その代議員は総会に出席したものとみなす。</p>	<p>候補者の合計数が第25条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。</p> <p>(委任状等)</p> <p>第23条 やむを得ない理由のため総会に出席できない代議員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって議決権の行使、または他の代議員を代理人として議決権の行使を委任することができる。</p> <p>2 前項の場合における前条の規定の適用については、その代議員は総会に出席したものとみなす。</p>	
<p>(役員の設置)</p> <p>第25条 この法人に、次の役員を置く。</p> <p>(1) 理事15名以上<u>20</u>名以内</p> <p>(2) 監事2名以内</p> <p>2 理事のうち1名を会長、3名以内を副会長とし、副会長を含めて6名以内を業務執行理事とすることができる。</p> <p>3 会長をもって法人法上の代表理事とする。</p>	<p>(1) 理事15名以上<u>21</u>名以内</p>	定数変更
<p>(役員の選任)</p> <p>第26条 理事及び監事は別に定める<u>規定</u>により、総会の決議によって選任する。ただし、監事のうち1名は<u>会員以外</u>から選任しなければならない。</p> <p>2 会長は、理事会の決議によって理事の中から選定する。この場合において、理事会は総会の決議により会長候補者を選出し、理事会において当該候補者を選定する方法によることができる。</p> <p>3 副会長は、会長が指名し理事会の承認を得る。</p> <p>4 業務執行理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。</p>	<p>第26条 理事及び監事は別に定める<u>規程</u>により、総会の決議によって選任する。ただし、<u>理事のうち1名、監事のうち1名は非会員</u>から選任しなければならない。</p>	文言修正 外部理事追加及び文言修正
<p>(報酬等)</p> <p>第31条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし、常勤ならびに<u>会員外</u>の理事及び監事に対しては、総会において別に定める報酬等の支給基準に従って算定した額を報酬として支給することができる。</p> <p>2 理事及び監事には会務に要した経費を支給する。</p>	<p>第31条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし、常勤ならびに<u>非会員</u>の理事及び監事に対しては、総会において別に定める報酬等の支給基準に従って算定した額を報酬として支給することができる。</p> <p>2 理事及び監事には会務に要した経費を支給する。</p>	文言修正

現 行	改正後	
<p>(議事録)</p> <p>第39条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。</p> <p>2 当該理事会に出席した会長及び監事は前項の議事録に署名捺印する。<u>但し</u>、会長不在の場合は理事会に出席した理事全員の記名押印を必要とする。</p>	<p>2 当該理事会に出席した会長及び監事は前項の議事録に署名捺印する。<u>ただし</u>、会長不在の場合は理事会に出席した理事全員の記名押印を必要とする。</p>	ひらがなに修正
<p>(事務局)</p> <p>第52条 この法人の事務を処理するために、事務局を置く。</p> <p>2 事務局には、必要な職員を置く。</p> <p>3 職員は理事会の決議を経て会長が任命する</p> <p>4 職員の事務分掌及び給与等については、理事会の決議を経て会長が定める。</p>	<p>3 職員は理事会の決議を経て会長が任命する。</p>	句点追加
<p>附 則</p> <p>1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人設立の登記の日から施行する。</p> <p>2 この法人の最初の会長は篠原健一とする。</p> <p>3 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と、公益法人の設立の登記を行ったときは、第36条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。</p> <p>4 平成24年5月26日改正、施行する。</p> <p>5 平成26年6月22日改正、施行する。</p> <p>6 平成29年6月18日改正、施行する。</p> <p>7 令和元年6月14日改正、施行する。</p> <p>8 令和5年6月17日改正、施行する。</p>	<p>9 令和8年2月5日改正、施行する。</p>	改正日（臨時総会）を追加

第2号議案 役員報酬規程改正（案）

現 行	改正後	
<p>公益社団法人東京都診療放射線技師会 役員報酬規程</p> <p>（目的）</p> <p>第1条 この規程は、公益社団法人東京都診療放射線技師会（以下、「この法人」という。）の定款第31条の規程に基づき、役員の報酬に関し必要な事項を定めることを目的とする。</p> <p>附 則</p> <p>1 この規程は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める 公益法人設立の登記の日から施行する。</p> <p>2 この規程は、平成26年6月22日改正、施行する。</p> <p>3 この規程は、令和2年6月21日改正、施行する。</p> <p>4 この規程は、令和7年6月21日改正、施行する。</p>	<p>公益社団法人東京都診療放射線技師会 役員報酬規程</p> <p>第1条 この規程は、公益社団法人東京都診療放射線技師会（以下、「この法人」という。）の定款第31条の規定に基づき、役員の報酬に関し必要な事項を定めることを目的とする。</p> <p>5 この規程は、令和8年2月5日改正、施行する。</p>	<p>誤字の修正</p> <p>改正日（臨時総会）を追加</p>

現 行 [別表]

		監 事	理 事
会 員	常 勤	無報酬	無報酬
	非常勤	無報酬	無報酬
非会員	常 勤	10,000円（税別）／日	10,000円（税別）／日
	非常勤	15,000円（税別）／月	15,000円（税別）／月

改正後 [別表]

		監 事	理 事
会 員	常 勤	無報酬	無報酬
	非常勤	無報酬	無報酬
非会員	常 勤	10,000円（税別）／日	10,000円（税別）／日
	非常勤	15,000円（税別）／月	無報酬

第28回 0型(表在型)大腸腫瘍 ～0-IIc(表面陥凹型)について～

東京労働者医療会 東葛病院 安藤 健一

これまで消化管造影検査連載企画では、上部消化管X線検査について、X線TV装置の機器精度管理について、食道・胃・小腸・大腸の症例について連載してきました。

そして現在は『大腸・注腸X線検査』について連載させていただいております。

新シリーズでは、これまで大腸の解剖生理・注腸X線検査の前処置・撮影法・画像評価法、番外編として硫酸バリウム製剤について、そして臨床画像・臨床症例について、取り上げてきました。引き続きどうぞよろしくお願ひ致します。

表在型大腸腫瘍の描出に求められる注腸X線画像

大腸表面型腫瘍（＝表在型大腸腫瘍）は、簡単に言ってしまえば基本的には丈の低い早期大腸癌ないしは、腺腫がターゲットとなります。大腸検査でよく遭遇する、ある程度の高さがあるI型の隆起性病変（いわゆるポリープ性病変）より軽微な所見を呈します。それらの存在診断・質的診断に迫るためには当然ながら、質の高い検査で良好な画像が求められます。では質の高い検査で良好な画像とはいいったいどのようなものだろうかを考えてみます。これらに対して当院では、『注腸X線検査の標準化』の画像評価をひとつの“ものさし”（基準）としています。この注腸X線検査の標準化は副題にあるように「大きさ1cm以上の病変を見逃さない検査を標準とする」とされています（図1）。

注腸X線検査の基本的な考え方を示します（図2）。

ここで特に重要となるのが、二重造影で大腸の全領域を盲点なく撮影すること、すべての部位で背側・腹側の両方を二重造影で撮り分けることです。それらに則って行われた検査を画像評価します（図3）。

画像評価の詳細な評価方法は『注腸X線検査の標準化』をご参照ください。

スクリーニング・精密検査を問わず臨床で行われている検査が画像評価の基準を8割以上でコンスタントにクリアできていれば、大腸表面型腫瘍の描出に必要な基本的事項の一つである、質の高い検査で良好な画像だと考えます。ここで私が検査時に意識している良好な二重造影像を得るために基本的事項について列挙します（図4）。

①バリウムを自在に移動させる技術②適切な空気量と体位変換を駆使し空気を入れるタイミングを計ることでバリウムを深部へ押し流す③腸管の重なりを避けるための圧迫④右側結腸を主とした襞を広げるための圧迫⑤腹側の盲腸・横行結腸・S状結腸等、バリウムの溜まりやすい部位を意識して撮影する⑥各部位どうしの移行部を意識して撮影する⑦すべての部位の背側・腹側を二重造影で撮り分ける意識⑧前処置状態より付着とスパスマ・ひび割れを考慮したバリウムの選択⑨患者様とのコミュニケーションと患者様の状況によっては無理はしない、撤退する、そして前処置が非常に重要となります。良好な二重造影像には良好な前処置が必要となり、経口腸管洗浄法が優れており、それに合わせたバリウム濃度を選択することが重要と考えます。

以上、私が考える大腸表面型腫瘍を描出するための基本的事項であり、先に述べた画像評価の基準を8割以上の検査でクリアできていることが求められる画像であると考えます。

それでは、0-Ⅱc（表面陥凹型）の症例画像（Ⅱa+Ⅱc含め）を呈示させていただきます。

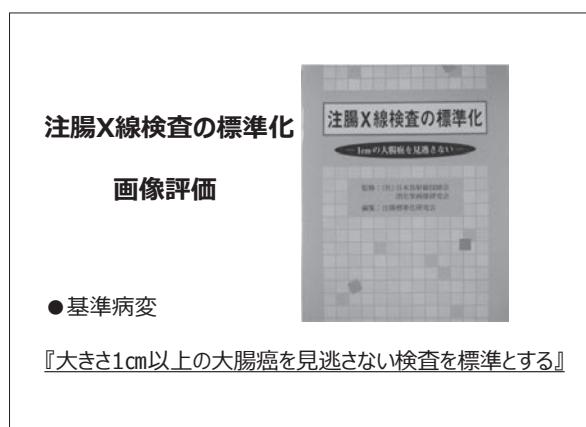


図1

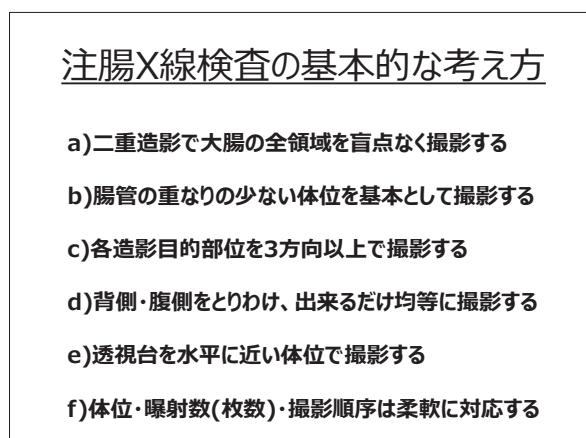


図2



図3

注腸X線検査の基本的な考え方

- ①バリウムを自在に移動させる技術
- ②適切な空気量と空気を入れるタイミング
- ③腸管の重なりを避ける為の圧迫
- ④襞を広げる為の圧迫
- ⑤バリウムの残存しやすい部位を意識して撮影する
- ⑥各部位どうしの移行部を意識して撮影する
- ⑦背側・腹側を二重造影で撮り分ける意識
- ⑧バリウムの選択⇒付着・スパスマ・ひび割れを考慮
- ⑨患者様とのコミュニケーション

図4

症例 1

脾臓曲部・肝臓曲部・横行結腸を中心に撮影された背臥位二重造影像を呈示します（図5～図8）。

付着と空気量（腸管拡張）、二重造影での撮影状態も問題なく良好な画像といえます。

（横行結腸に残存したバリウムは後述する病変部追加撮影を考慮して、あえて少量=適切なバリウム量に調節し、意図的に残存させた状態で撮影。いわゆる次の準備になります。）

横行結腸背側の中央部に異常所見を認めます（図8）。

この病変に対してバリウムを積極的に漂流させ圧迫を加え撮影します。厚めに漂わせたバリウムを徐々に流し引いていきます。圧迫の圧力も微調整して腸管を平坦化、ヒダを伸展させます。そうすることで、ヒダ上に存在する平坦な病変の全貌を捉えることができます（図9）。

一見すると、明らかなはじき像や濃いたまり像は認めませんが、詳細にみると、不整形な淡いはじき像と同じく不整形な淡いたまり像を認めます。そして病変周囲にわずかに粘膜集中（ひきつれ）も認めます（図10～図13）。

病変の大きさは10mm前後と小さいですが、粘膜下層に浸潤した0-Ⅱc型の大腸癌と診断することができます。

内視鏡画像との対比でも、ヒダに跨るように存在する0-Ⅱc病変が明瞭に描出されていると思います（図14）。

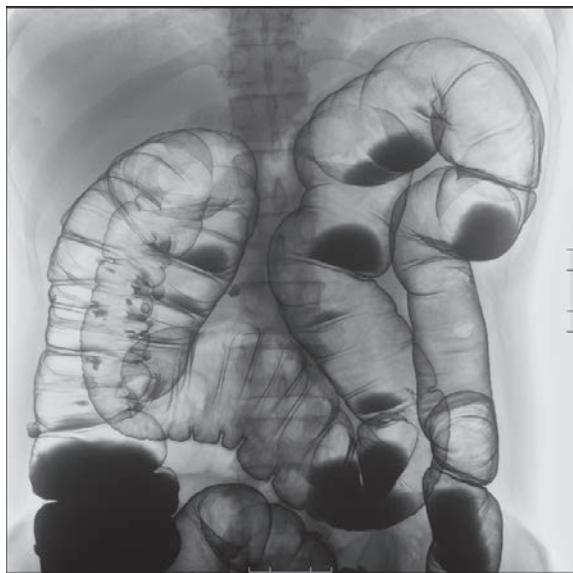


図5



図8

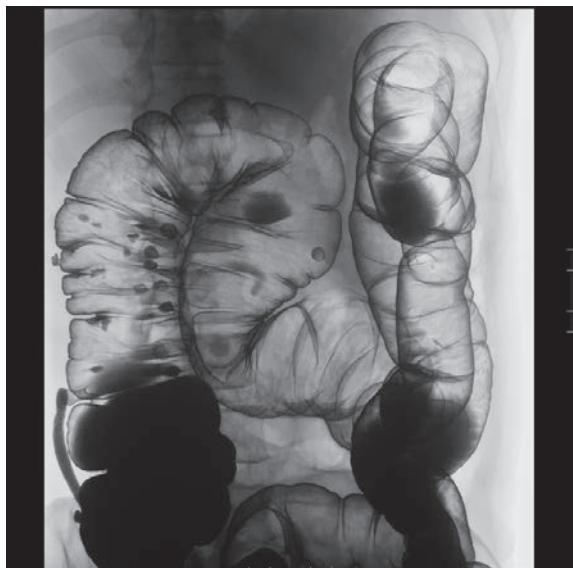


図6

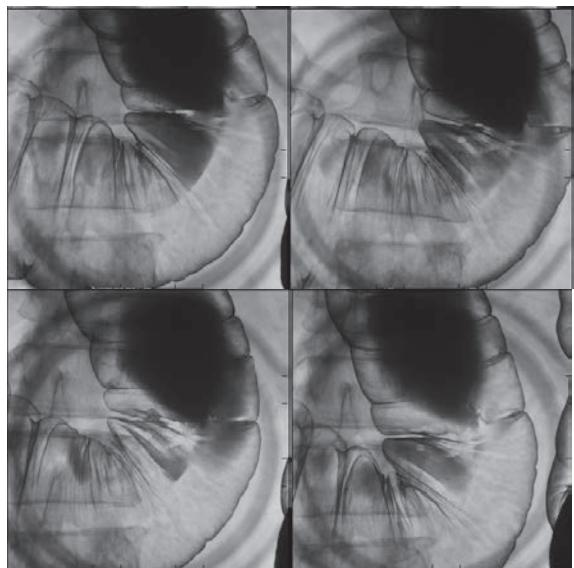


図9



図7

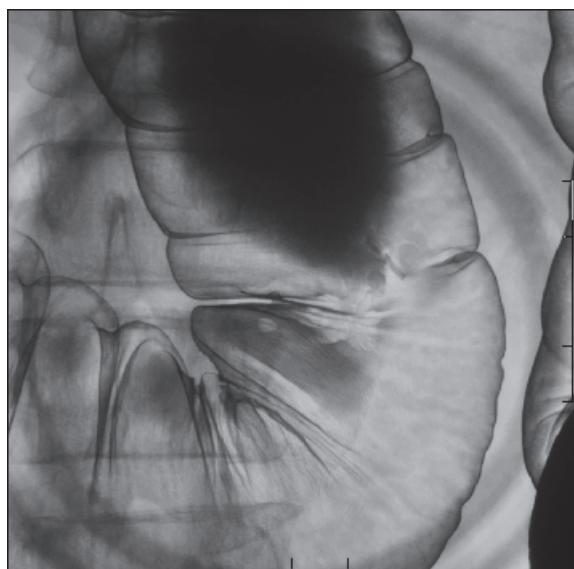


図10

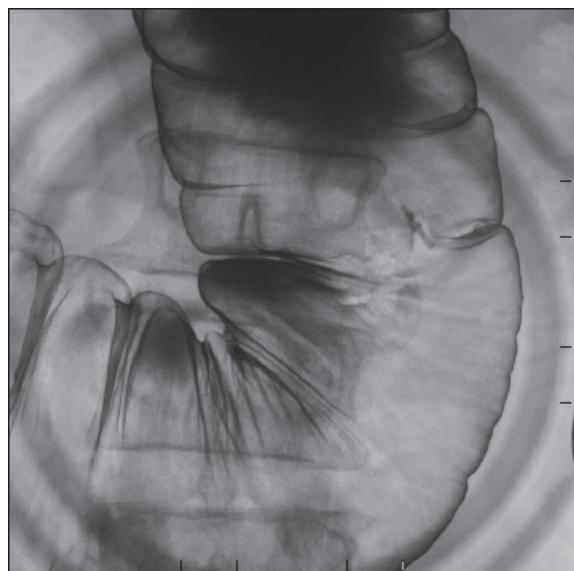


図11

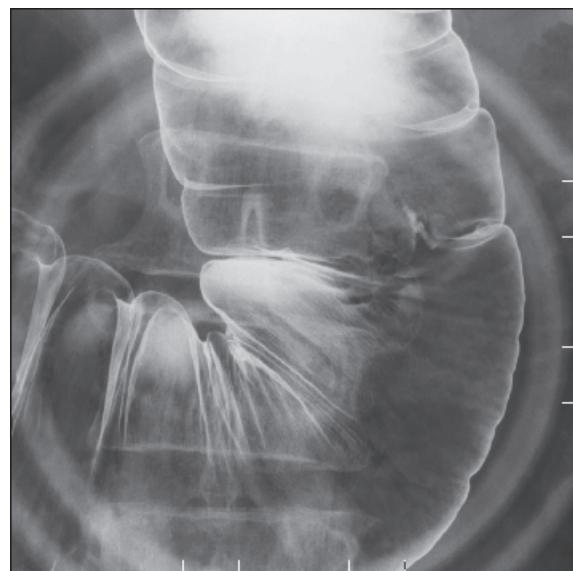


図13



図12

症例2

脾彎曲部・肝彎曲部・横行結腸を中心に撮影された背臥位二重造影像を呈示します（図15～図17）。

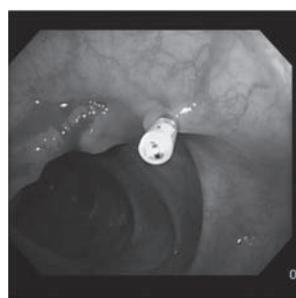
異常所見を指摘することはできますでしょうか？非常に軽微な所見で異常を指摘するのは難しいと思われますが、横行結腸背側やや左側、矢頭部分（△）を注意深く観察していただくとヒダの異常を認識することができますでしょうか。周囲のヒダと比較して矢頭部のヒダはヒダ端が開大しているのが理解できますでしょうか。軽微な所見ではありますが、正常のヒダと比べていただければその異常を認識することができると思います（図15・図16）。

同様に矢印部分（⇨）を注意深く観察していただくと淡い透亮像を認識していただけると思います（図17）。

まずは透視観察にてこれらの異常所見（＝病変）に気づくことが重要となります。

ここからこの病変の精密的な撮影を行います。まずは病変部分に過不足の無い適切な量のバリウムを移動させ、淡く漂わせます。同時に適切な圧力で圧迫を加え、腸管の平坦化とヒダをなるべく伸展

対比



Type 0- II c

図14

させるようにします。この状態で病変部分の質の高い圧迫二重造影漂流撮影が可能となります（図18～図19）。

10mm以下の小さな病変ですが、淡いはじき像と淡いたまり像を詳細に描出することができます（図20・図21）。

注腸X線検査にて肉眼形態は0-IIc、深達度は淡いながらもしっかりととした陥凹所見を認めますので粘膜下層への浸潤を疑う所見であると考えます。

結果は、ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）が施行され、組織型は高分化型腺癌、肉眼型は0-IIc、深達度はSMの最終診断となりました（図22）。

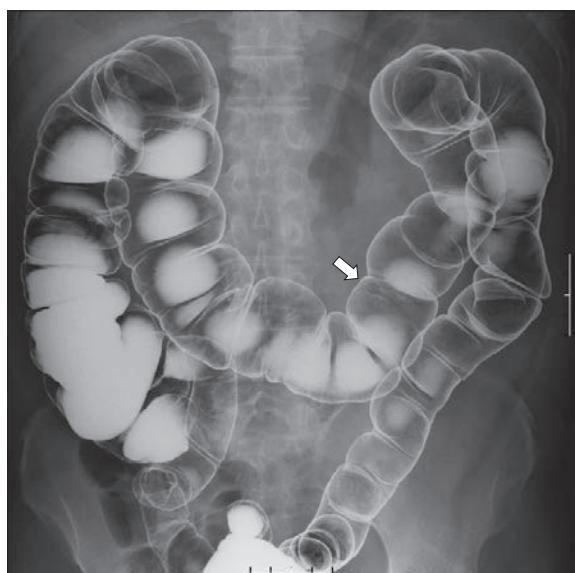


図17



図15

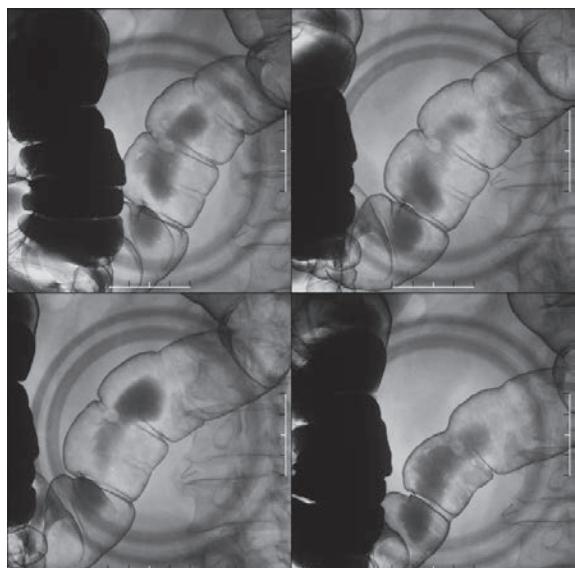


図18

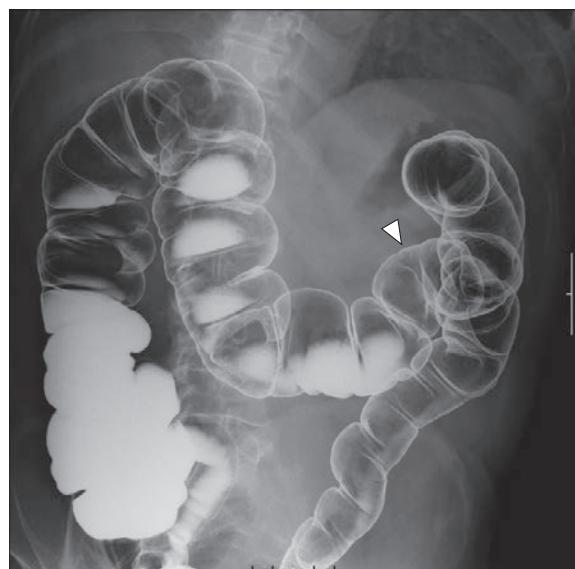


図16

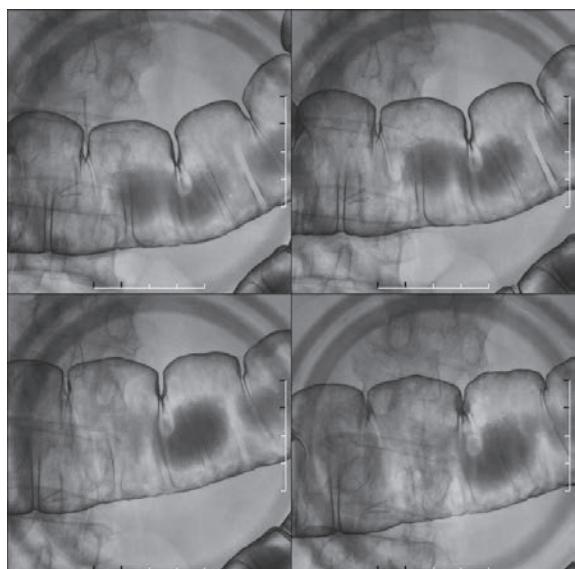


図19

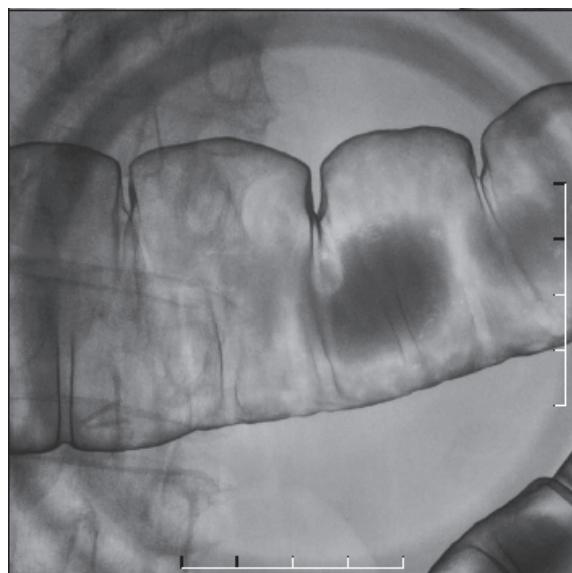


図20

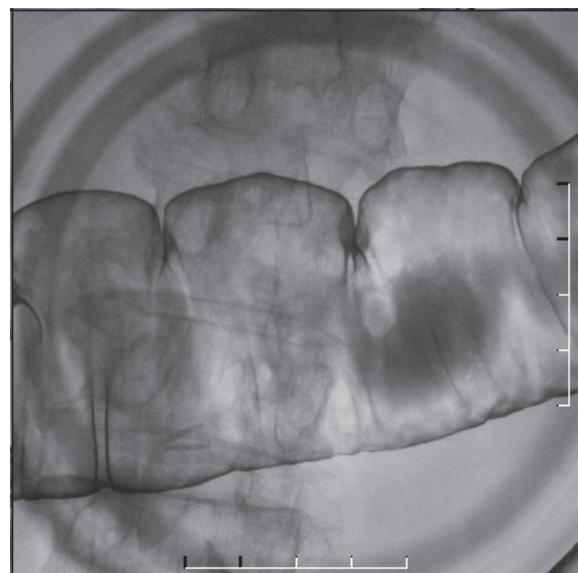


図21

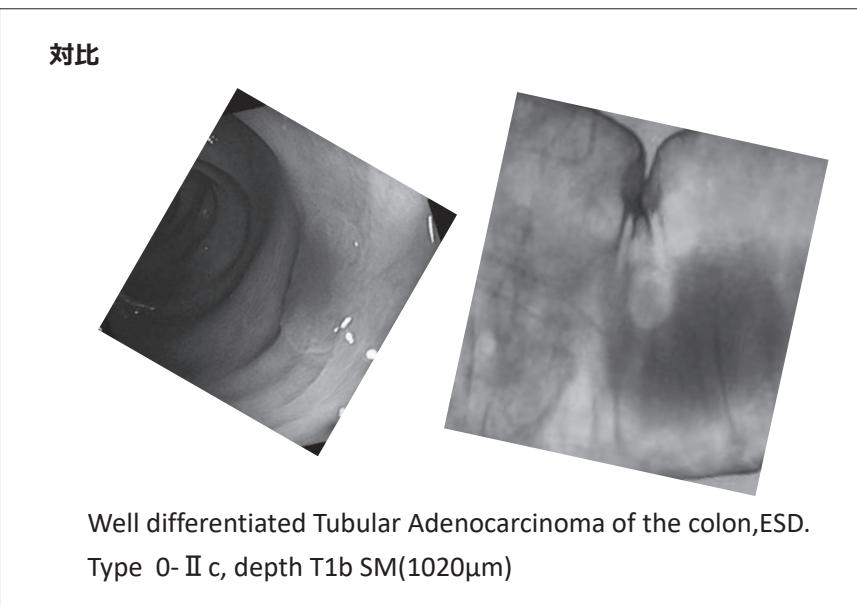


図22

症例3

脾臓曲部・横行結腸を中心に撮影された背臥位（図23）と腹臥位（図24）の二重造影像を呈示します。この症例も非常に軽微な所見です。背臥位で撮影された横行結腸の左側、矢頭部分（△）を注意深く観察していただくとヒダの複線化を認識することができますでしょうか（図23）。

同じく、腹臥位で撮影された横行結腸の左側、矢頭部分（△）を注意深く観察していただくとヒダのわずかな腫大を認識することができます

でしょうか（図24）。

どちらの所見も非常に軽微な所見で見慣れていても指摘は簡単ではありません。しかし、はじき像やたまり像だけではなくこうしたヒダの軽微な異常所見は、大腸表面型腫瘍（＝表在型大腸腫瘍）においては、欠かすことのできない非常に大事な所見となります。常にこうした所見の存在を念頭におくことが重要となります。

病変は腹側の横行結腸の左側に存在します。矢印部分（⇨）を注意深く観察していただくと何とか淡い透亮像を認識していただけますでしょうか。コントラスト差がほとんど無い非常に淡い透

亮像の所見です（図25）。

これらの所見をもう少し鮮明に描出するためには、病変の周囲に極少量のバリウムを漂わせます。バリウムの量が多くなれば（厚くなれば）病変部分は覆われてしましますので、ごく少量に微調整することが重要となります。そうすることで透亮像としての認識がより明瞭になったと思われます（図26）。

その状態から、圧迫枕を使用して腹臥位圧迫を加え、腸管の平坦化と腸管の屈曲を伸展化させていきます（図27）。

徐々に徐々に腸管を伸展化させて、病変部の腸管も平坦化させ、病変部にバリウムを淡く漂流さ

せる、腹臥位圧迫二重造影漂流撮影を行います。その画像から、透亮像の中に非常に淡いバリウムのたまりを認め（陷凹所見）と認識することができます（図28）。

注腸X線検査にて、肉眼形態は0-Ⅱc、深達度は病変の厚みは無く、たまり（陷凹所見）も非常に軽微で粘膜集中やひきつれも認めないので粘膜内癌（M）であると考えられます。

結果は、ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）が施行され、組織型は高分化型腺癌、肉眼型は0-Ⅱc、大きさは $0.8 \times 0.5\text{cm}$ 、深達度はMの最終診断となりました（図29）。



図23

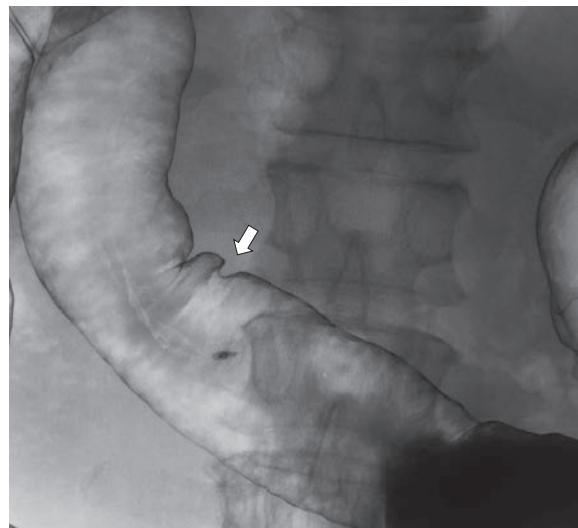


図25



図24

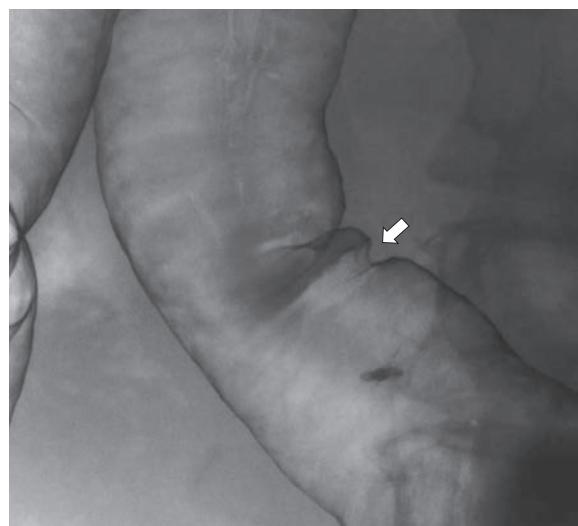


図26



図27

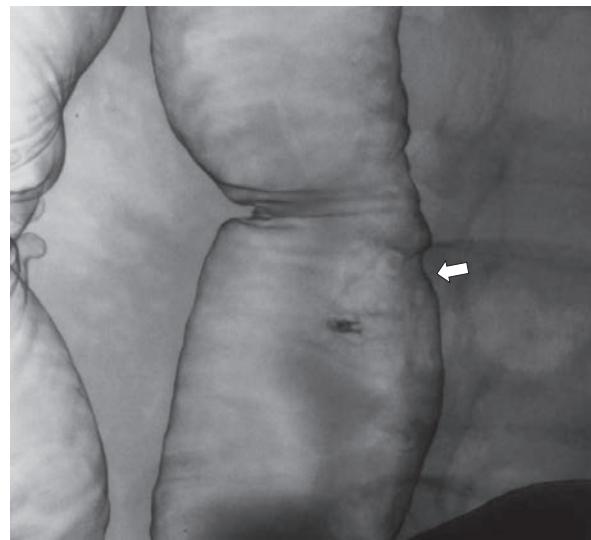


図28

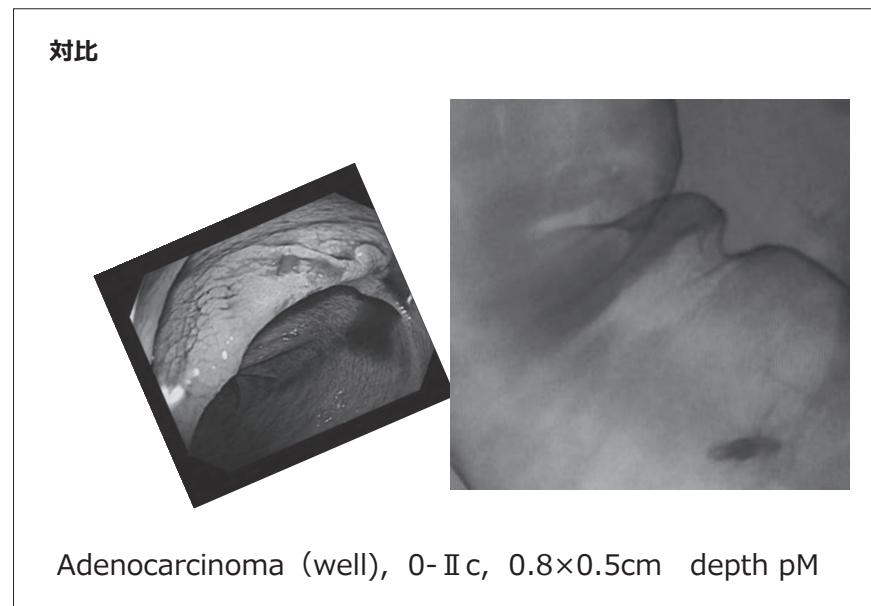


図29

おわりに

今回は大腸の表面陥凹型・IIc病変（表面隆起陥凹型IIa+IIc病変）について症例を提示しながら、描出法・撮影法についてお話しさせていただきました。

精度の高い注腸X線検査では、今回のような10mm以下の小さな大腸表面陥凹型・IIc病変も描

出可能です。そのためには背側・腹側の良好な二重造影像を撮影する撮影技術が非常に重要となります。透視観察では、はじき像やたまり像の所見だけではなく軽微なヒダの異常所見も非常に重要なとなります。

次回も、引き続き大腸の表面陥凹型・IIc病変（表面隆起陥凹型IIa+IIc病変）についてお話しさせていただきます。



「災害対策マニュアルの作り方を学ぼう」

第二部 「アクションカードを作ろう」

3. 「アクションカードを利用した実動訓練」

○文中登場者（Ⓐ～Ⓓは全て異なる施設に勤務）

- Ⓐ 放射線部門災害対策マニュアル作成経験者、進行役
- Ⓑ 放射線部門災害対策マニュアル作成経験者
- Ⓒ 放射線部門災害対策マニュアル作成経験者
- Ⓓ 放射線部門災害対策マニュアルの作成については未経験者

Ⓐ：さて、今回はいよいよ実動訓練について話していきたいと思います。前回、机上訓練について述べましたが、無事机上訓練も終了し、アクションカードの修正も行ったという想定です。事前準備や訓練中の注意事項、訓練後に行うことなどについて話したいと思いますが、実動訓練となると机上訓練とはスケールが異なりますので準備も大変ですよね。順を追って話していきましょう。

まずは、事前準備から始めたいと思います。準備することを分類すると、以下のようなイメージでよろしいでしょうか？

事前準備

1. 訓練目的とシナリオ設定

- ・訓練の目的を明確化（例：地震発生時の初動対応確認、機器安全確保、患者避難誘導）
- ・想定する災害種別を設定（地震、火災、停電、津波警報など）

- ・シナリオの作成（X線室稼働中の停電、CT稼働中の患者避難など）

2. 関係者・部署との調整

- ・院内災害対策本部や総務課と日程・訓練内容を調整
- ・他部署（医師、看護部、救急外来、臨床工学部門など）との連携確認

3. 資機材・施設確認

- ・防災用備品の在庫と位置（懐中電灯、軍手、車椅子、ストレッチャーなど）
- ・機器固定状況や非常電源の稼働確認
- ・訓練時に使用する連絡機器（PHS、内線電話、トランシーバーなど）の確認
- ・アクションカード、被災状況報告書などのツールの確認

4. 安全管理と周知

- ・訓練中の安全確保（転倒防止、実際の火気使用禁止）
- ・危険区域や立入禁止区域の明示
- ・参加者全員への訓練概要、タイムスケジュール配布
- ・実施日の周知（患者・来院者への事前案内含む）

Ⓒ：訓練の規模によって必要、不要はありますですが、項目としては概ねよいのではないでしょうか。

Ⓓ：事前準備の項目をみても、改めて大変さが伝わります。

Ⓑ：初めての場合、まずは机上訓練で実施した内容を実動訓練に移行するのがよいと思います。その方がイメージしやすいの



ではないでしょうか。

A：そうですね。「訓練目的とシナリオ設定」はすでに机上訓練で作成しているので、これについてはスキップしましょう。次の「関係者・部署との調整」について説明をお願いします。

C：訓練を行う日程については、確定しているものとします。訓練の内容は、あらかじめ部署毎に明確にしておくべきです。

D：他部署との連携はどうしますか。

B：訓練の中で、他部署の協力が必要と想定される場合、あらかじめお互いの対応についてイメージを共有しておくとよいかと思います。また訓練の質を高めるために、実際の対応に近い状況を作ることが望ましいです。例えば、CT検査中の想定であれば、模擬患者役が検査台に横になってもらっておくのも良いかも知れません。

A：「資機材・施設確認」について説明をお願いします。

C：被災時に必要となる備品（防災備品・連絡機器等）について、実際の物品がどこにあるのかを確認します。

B：普段使う機会がなく、定期チェックのみになっているのであれば、訓練前には備品の在庫が足りているか、使用ができるのか動作確認も大切ですね。

D：機器の固定状況や非常電源について、院内スタッフだけで確認できますか。

C：大型医療機器等の機器の固定状況については、担当機器メーカーさんに確認

を取っておくことがよいです。非常電源の接続状況ですが、非常電源に接続されている機器を把握しましょう。把握する方法としては、施設電源担当者に問い合わせる、または、毎年行われている施設電源の法定設備点検時にあわせて確認するなどが考えられます。

B：わからない場合は、「わかりそうな人に相談」ですね。

D：たしかにそうですね。

A：次に「安全管理と周知」について説明をお願いします。

B：訓練時の安全管理は重要です。参加される方々には、安全第一として自身や身の回りの安全に気を配り、病気や怪我をしないように、注意喚起してください。不明点や危険を感じた場合は、即時中断するように伝えましょう。

C：むやみに人が立ち入ってほしくない場所には、例えばRI施設などはあらかじめバリケードなどを設置するといったことも考えてよいと思います。実際に災害が起ってしまった時にも必要となるので、あらかじめ想定しておくのが良いです。

D：訓練の周知はどのように行いますか。

B：関係者に訓練概要の資料等を配布します。必要であれば事前説明会を行うことで、参加者の理解度や訓練に対するモチベーションの向上が期待できます。

C：直接的な関係者以外にも周知する必要があります。周囲の人が、訓練なのか実際に起きていることなのかが分かっていない



いと問題です。掲示物や館内放送で周知を行っていただければと思います。

 A : ここまで、訓練の事前準備について説明していただきました。次に訓練中の注意事項についてです。

 C : 災害対応の大まかな流れとしては、「発災」・「初動」・「災害レベルの決定」・「新設部門の増設」・「実動対応」になるかと思います。この流れに準じない対応はよくありません。一つの例としては、本部長から災害レベル決定の案内が流れていらないのに新設部門の準備を始めてしまうことです。災害レベルの設定によっては病院退避も考えられるため、一部門の判断だけで新設部門を立ち上げないよう注意が必要です。

 D : 事前に訓練シナリオ設定を知っていたとしても、早めに準備を進めるのはダメですか。

 C : 早くから準備を行うことで、実際にほどの程度の時間が掛かり、どの程度の労力が必要となるのか、検証ができなくなり、実際の災害対応に活かせなくなってしまいます。そのため、本部から指示が入ったタイミングで行動に移すことが大切になってきます。ただ、訓練内容が、すでに災害レベルが決定され、そこから30分後などの訓練シナリオであれば、それに合わせればよいです。

 D : わかりました。

 C : もう一つ、訓練時は事前のシナリオ設定を踏まえた対応を心掛けてください。例としては、一部装置が故障した想定なのに、装置が使えることで訓練を行うなどは避けてください。訓練全体の進行に影響が出る可能性があります。また、入室から退出ま

で検査時間は何分かかるのか、といった時間設定も大切です。通常からあまりにもかけ離れた時間設定だと、この依頼件数が来ると待ち時間がどれくらいになってしまうかなどの検証を行うことができません。

 B : 進行役の方にも心がけてほしいことがあります。例えば、今回の訓練には災害対策本部は参加しないなどの制約が出てくることもあると思います。進行役の方は、訓練時に架空の存在となってしまう部署などから発せられる「発生イベント」、例えば、「災害レベルの決定」・「新設部門の増設」などをタイミングよく訓練参加者に明確に伝えることを意識してほしいです。

 A : 他にありますか。

 B : 診療を継続しながら訓練を行う場合、実対応か訓練対応かの区別は必要かと思います。各現場の状況をお互いに把握・整理するため、情報伝達する際は「訓練です」と一言添えてください。院内の電話を使って連絡をすると実際の緊急依頼なのか、訓練の依頼なのか不明瞭になることがあります。なので、この一言は大切です。

 D : 「訓練です」と伝えられるだけでも、この方は、今、訓練対応をしているのだと判断できますね。ちなみに、患者役の方はどのようにしていればよいですか。

 B : 意識のある患者役であれば、設定に沿った主訴を伝えながら役を演じていただくことができます。しかし、意識のない患者役の場合、主訴を訴えることが困難となります。その場合、患者役の傍にタイミングを見て患者情報を伝達する、黒子役を用意しておくとよいです。



 **D**：なるほど。訓練でも、実際の対応に似ているシチュエーションが求められますね。

 **C**：訓練にリアリティを追求することで、災害対応の質が高まると考えます。

 **A**：最後に、訓練終了後についてお願ひします。

 **B**：訓練終了後、災害対策用に整備されているマニュアルやアクションカード、その他の資料や物品、訓練内容や訓練方法などについて、今まで見えなかった部分が見えてくると思います。訓練を終えて大変かと思いますが、その場で振り返りをして、できしたこと、できなかったことをまとめておくことは重要です。また、「こうした方が良い」「これはおかしい」などの意見が出てくると思いますが、見直しに関する議論は、情報を整理したうえで後日行った方がよいと思います。

 **C**：できれば、各部門の代表者が参集して簡易的な反省会が行えるとより良いと思います。訓練が終わった直後のリアルな意見が引き出されるはずです。その後、時間を置いてから報告会を行い、次の災害訓練・災害対応に繋げていくことが重要です。

 **A**：反省会や報告会の内容も「記録」として残しておくことが大切ですね。ありがとうございます。

今回はアクションカードを利用した実動訓練について話し合いました。参加できる人数によって、実動訓練の規模も変わってくるかと思います。はじめは小規模で始めてみて、少しづつ規模を広げていく。コツコツと積み重ねていくことで、より良い災害訓練・災害対応に繋げていただければ幸いです。

さて、次回で最終回の予定です。本稿登場者の皆さんと今回の企画連載について振り返ってみたいと思います。

今回のまとめ

「アクションカードを利用した実動訓練」

1. 他部署との連携を事前に行い、イメージを共有しておく。
2. 訓練前に資機材・施設確認を実施し、災害前の動作確認に繋げる。
3. 訓練時にも安全管理に努める。
4. 院内へ周知することで、訓練へのモチベーション向上に繋げる。
5. 対応手順を遵守することで、訓練への支障を出さない。
6. 訓練終了後、報告会・反省会を行い、次の災害訓練・災害対応に繋げる。

2025年度 城北支部研修会を開催して

城北支部 埼玉方面 第16地区 三郷中央総合病院 関谷 薫

2025年度城北支部研修会は、Web、現地参加、総勢78名の方に聴講していただき、誠にありがとうございました。

講師の小川先生は、私と同じ上尾中央医科グループの、上尾中央総合病院でご勤務されており、埼玉県診療放射線技師会でもご活躍されています。今年の2月9日に開催された第38回埼玉県診療放射線技師会学術大会において、小川先生のコミュニケーションに関するセッションがあり、聴講させていただきました。

終了後、小川先生との会話で、「この内容、この時間だけだと全部話せないんですよ」と、であれば、是非とも東京都の技師会の研修会で、時間を十分に取りますので、お話してくれませんか?との要望に、

ご快諾いただき、開催する運びとなりました。

90分の研修会でしたが、参加された聴講者は、最後まで、聴講していただけました。

また、小川先生には、事前資料の提供もいただくことができたので、理解がより深まったと考えております。

アンガーマネジメントと、アサーティブコミュニケーションは、私たち、診療放射線技師の専門的な技術の、安全で効率的な業務遂行に必要不可欠な能力であることを、あらためて確認することができました。

引き続き、城北支部は、皆さまの業務に役立つ研修会を開催してまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。



2025年度 城北支部研修会講演を聴いて

第5地区地区委員 大貫弘二

上尾中央総合病院診療放射線技術科の小川氏による「感情コントロールと上手な伝え方を学ぼう～アンガーマネジメント&アサーティブコミュニケーションについて～」の講演を聴き、感情との向き合い方や人間関係の築き方について、改めて深く考える機会となりました。

特に印象的だったのは、「怒ってもかまわない」という言葉です。これまで私は、怒りはできるだけ抑えるべきものであり、表に出してはいけないものだと思っていました。しかし、アンガーマネジメントとは「怒りを後悔しないこと」であり、怒るべきときには上手に怒り、怒る必要のないときには怒らないようにすることだと知り、目から鱗が落ちる思いでした。

また、怒りの根底にある「コアビリーフ」を分析するというお話も新鮮でした。「～すべき」「～でなければならない」といった理想や価値観とのギャップこそが怒りの正体であるという説明を聞き、怒りだけでなく自分の考え方も客観的に見つめ直すことができると感じ、視点を変えることの重要性を実感しました。

講演の中では、怒りが湧いてきたときの対処法もいくつか紹介されました。「6秒コントロール」は以

前から知っていましたが、それ以外にも、怒りの強さを0～10点で数値化して客観的に把握する「スケールテクニック」や、心の中で「ストップ」と唱えて思考を一時停止させる「ストップシンキング」など、日常生活の中ですぐに取り入れられる実践的なテクニックが紹介されました。今後、自分に合った方法を試してみたいと思います。

後半のアサーティブコミュニケーションの話では、「自分も相手も大切にする」コミュニケーションのあり方について学びました。「I'm OK, You're OK」の関係を築くために、自分の表現タイプを知り、相手の立場を尊重しながら意見を伝えることの大切さを、具体的な事例を交えて分かりやすく説明していただきました。職場や家庭など、さまざまな場面で活かせる内容だと感じました。

講師の語り口は明快で、すっと心に入ってきました。何より、感情やコミュニケーションに向き合う温かい姿勢が伝わってきて、安心して学ぶことができました。

この講演を通して、感情を否定せず、上手に付き合っていくことの大切さ、そして人との関係をより良くするための多くのヒントを得ることができました。今後は、講演で得た学びを少しづつ自分の思考や行動に反映させていきたいと思います。

博慈会記念総合病院 伊佐理嘉

2025年10月24日、東京都診療放射線技師研修センターにて、上尾中央総合病院の小川智久先生による「感情のコントロールと上手な伝え方を学ぼう～アンガーマネジメント＆アサティブコミュニケーションについて～」のご講演を拝聴しました。

前半ではアンガーマネジメントについてのお話で「怒り」は人間にとて自然な感情であり、ただ我慢するのではなく、適切に表現することが重要であると学びました。後悔のない怒り方や、怒る必要のない場面では冷静に対応できるようになるための知識を得ることができました。まずは自分自身の「怒りのタイプ」や傾向を知り、どのような思考が怒りのトリガーとなるのかを把握することが大切だというお話が印象的でした。また、怒りが湧いてきた際に衝動的にならないための具体的なテクニックも教え

ていただき、非常に参考になりました。

後半ではアサティブコミュニケーションについてお話をさせていただきました。これは自分の考え方や気持ちを率直に伝えつつ、相手を尊重するコミュニケーション方法です。私自身、日頃から意識していることではありましたが、体系的かつ理論的に解説していただいたことで、理解がより深まりました。

職場では年齢的にも感情のコントロールが求められる立場にあるため、今回の研修会を通じて自分自身の感情を客観的に見つめ直し、理解を深める貴重な機会となりました。今後も日常生活の中で、特に「怒り」の感情に注意し、実践していきたいと考えています。

改めて、素晴らしいご講演をしてくださった小川智久先生に心より感謝申し上げます。



2025年度 第4地区研修会 開催報告

2025年12月16日（火）、東京慈恵会医科大学附属病院 中央棟8階会議室において、東京都診療放射線技師会 第4地区研修会を開催致しました。

本研修会は、「エコーの世界へようこそ！～下肢静脈検査の第一歩～」をテーマに、超音波検査の基礎から下肢静脈超音波検査の実際、さらに下腿静脈超音波検査のハンズオンまで、実践的な内容で構成されました。

講義では、超音波検査未経験の方にも分かりやすいよう、検査の基本について丁寧な解説が行われました。下肢静脈DVT超音波検査における観察ポイ

ントをはじめ、超音波で描出する際の解剖学的位置関係や注意点、診断の進め方について講義がなされました。

後半のハンズオンでは、実際にプローブを操作しながら下腿静脈の描出が実演され、参加者の皆さんにも体験していただきました。普段はあまり触れる機会のない装置を実際に使用し、リアルタイムで検査画像を供覧できたことで、会場型・体験型研修会の意義を改めて実感する機会となりました。

以下に、本研修会に参加された方々から寄せられた印象記を掲載致します。

第4地区研修会 印象記

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 杉浦美紀

2025年12月16日に開催された第4地区研修会「エコーの世界へようこそ！～下肢静脈検査の第一歩～」に参加した。私は超音波検査に携わったことがなく、臨床現場における知見を深めたいと考え、本研修会に臨んだ。

講義は超音波検査の基礎から始まり、後半は下肢静脈DVT超音波検査の実践的な解説が行われた。病態の理解から観察・評価のポイントに至るまで未経験者にも非常に分かりやすく丁寧な解説がなされ

た。講義内容を踏まえ、実際に超音波装置を用いて体験させていただいた。実践することでより理解が深まるごとに、検査の難しさと奥深さを肌で感じることができた。現在、自施設で超音波検査に携わる機会はないが、本研修で得た知識と経験は日常診療においても活かすことができると感じている。

最後になりますが、この度は非常に貴重な経験をさせていただきありがとうございました。深く感謝申し上げます。

「やってる風エコーでも難しい」

リジョイスカンパニー 佐藤知真

以前からエコー検査に興味があり、より詳しく学びたいと思っていた中で今回の第4地区研修会で未経験の方にこそぜひエコーに触れてほしいとの言葉に惹かれて参加しました。

今回の研修会は東京慈恵会医科大学附属病院の松田敏治先生よりエコーの基礎、DVT（深部静脈血栓症）検査について、DVT検査のハンズオンの大きく3つの内容を講演・実践していただきました。

エコーの基礎は久々に聞いた単語も出てきて、学生の時に学んだことを思い出しながら聞いていましたが、実際に携わらないと覚えるのが難しいと感じました。

DVT検査はまずDVTとは何か、その後に検査内容について詳しく説明していただきましたが、エコー検査は腹部や乳腺の検査のイメージが強い中で足も見るということにエコーの奥深さを感じました。

最後にDVT検査のハンズオンでしたが、実際に検査を間近で見ることでプローブの圧迫具合によって動脈と静脈の違いや血栓の有無を区別することができることから術者の腕が左右する検査だと実感しました。

実際に私自身もプローブを使って検査を体験し、想像以上にプローブをかなり圧迫しないと目的部位の区別をつけることができず苦戦しましたが、圧迫してもつぶれないのが動脈、つぶれるのが静脈といったアドバイスを松田先生から教えていただきながらDVT検査について詳しく学ぶことができました。

エコー検査はかなり難しいイメージを持っていましたが、今回の研修会を通して実際に触れてみるとより具体的にイメージをつかむことができ、いずれは携わりたいと思いました。

会員動向

2025年4月～12月期

年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
2024年度末集計	2,702	279	41	28	151
2025年 4月	2,742	40	6	5	1
2025年 5月	2,762	31	2	6	7
2025年 6月	2,788	26	2	1	1
2025年 7月	2,821	36	1	0	4
2025年 8月	2,836	17	2	2	2
2025年 9月	2,829	12	4	1	22
2025年10月	2,841	20	3	0	11
2025年11月	2,834	9	2	1	17
2025年12月	2,820	4	0	5	13

日本診療放射線技師連盟 2025 No. 9 ニュース (通巻No.113)

連盟活動報告

発行日 令和7年11月29日
発行所 日本診療放射線技師連盟
〒381-0812
埼玉県さいたま市北区宮原2-51-39
TEL.048-664-2728 FAX.03-6740-1913

- ① 11月10日(月) 第6回JFRT理事会開催
- ② 11月12日(水) 自民党団体総局厚生関係団体委員会・厚生労働部会「予算・税制等に関する政策懇談会」に出席
- ③ 11月12日(水) 第5回「日技連/日放連」連盟定期連絡懇話会開催
- ④ 11月18日(火) 参議院選挙自見はなこ政策セミナーに出席
- ⑤ 11月20日(木) JFRT主催 第20回定例勉強会開催
- ⑥ 11月21日(金) 公明党診療放射線技師制度に関する議員懇話会に出席

① 日本診療放射線技師連盟 第7代目理事長に
畠元将吾氏が就任しました(第6回JFRT理事会承認)

② 「予算・税制等に関する政策懇談会」
日本診療放射線技師会・日本診療放射線技師連盟政策要望

- 1.「病院経営の抜本的改善と医療関係職種の待遇改善(補正予算措置)」
- 2.「原子力災害医療体制における診療放射線技師の活用」
- 3.「がん診療における放射線治療の推進」
- 4.「医療情報システムの安全管理および医療DXの推進における診療放射線技師の貢献」に対する評価
- 5.「医療被ばく低減施設認定」取り組みへの評価
- 6.「画像診断用ディスプレイの保守管理の施設基準への収載」と管理に関する診療放射線技師の評価

当連盟入会ならびに年会費支払い

[JFRT 日本診療放射線技師連盟](#)

2021年第2回理事会において、年会費は一律2,000円となりました。
また、寄付によるご支援も隨時受け付けております。

入会されますと、過去の定例勉強会のオンデマンド配信を視聴することができます。

郵便局 備え付けの振込取扱票を使用してお振込みの場合

→ 口座記号・口座番号 00100-2-667669

ゆうちょ銀行に直接お振込みの場合

→ 店名(店番):019 当座預金 口座番号:0667669 加入者名 日本診療放射線技師連盟



News

2月号

会長挨拶

皆さまお疲れ様です。本日は今年最後の理事会になり、多くの議題がある。皆さまと議論していきたいと思うのでよろしくお願いしたい。

理事会定数確認

出席：19名、欠席：0名

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

報告事項

1) 江田哲男 会長

・活動報告書に追加なし。

2) 副会長

関 真一 副会長

・活動報告書に追加なし。

野口幸作 副会長

・活動報告書に追加なし。

浅沼雅康 副会長

・活動報告書に追加なし。

3) 業務執行理事

総務：鈴木雄一 理事

・活動報告書に追加なし。

日 時：2025年12月4日 (木)

午後7時00分～午後8時45分

場 所：インターネット回線上

出席理事：江田哲男、野口幸作、関 真一、浅沼雅康、鈴木雄一、木暮陽介、市川重司、石田雅彦、高野修彰、市川篤志、竹安直行、江積孝之、今尾 仁、渡辺靖志、鮎川幸司、関谷 薫、島田 諭、布川嘉信、大津元春

出席監事：野田扇三郎、白木 尚

指名出席者：増田祥代（第1地区委員長）、松田敏治（第4地区委員長）、北野りえ（第5地区委員長）、伊佐理嘉（第6地区委員長）、富丸佳一（第7地区委員長）、西郷洋子（第9地区委員長）、澤田恒久（第10地区委員長）、名古安伸（第11地区委員長）、長谷川浩章（第14地区委員長）、宮下麻依（第15地区委員長）、岩井譜憲（編集委員長）、桐 洋介（国際委員長）、中尾 愛（入会促進委員長）、村山嘉隆（総務委員）、青木 淳（総務委員）、新川翔太（総務委員）

欠席理事：なし

欠席監事：なし

議 長：江田哲男（会長）

司 会：関 真一（副会長）

議事録作成：村山嘉隆、青木 淳、新川翔太

庶務：木暮陽介 理事

・活動報告書に追加なし。

教育：市川重司 理事

・活動報告書に追加なし。

4) 専門部委員会報告

・活動報告書に追加なし。

5) 地区委員会報告

・活動報告書に追加なし。

6) 各委員会報告

・活動報告書に追加なし。

7) その他

・特になし

議 事

1) 事業申請

①第8地区研修会

テーマ：一般撮影に関する講義 一般撮影を再発掘してみた

日 時：2026年2月14日 (土) 16:00～17:15

場 所：東邦大学医療センター大森病院 臨床講堂

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

②多摩支部研修会

テーマ：STAT画像所見報告の現状と実症例から学ぶ
画像を見る力

①STAT画像所見報告体制の構築

②実例をもとにした画像確認と対応

日 時：2026年2月19日(木) 19:00～20:15

場 所：Web配信(TART支部Zoom)

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

③第12地区研修会

テーマ：臨床工学技士に聞く！不整脈に対するデバイス治療の基礎知識

日 時：2026年3月3日(火) 19:00～20:00

場 所：Web配信(Microsoft Teams)

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

④第7地区研修会

テーマ：海外で活躍する診療放射線技師から学ぶ、新しい視点と挑戦

日 時：2026年3月13日(金) 19:00～20:00

場 所：ハイブリッド開催(Web・東京都診療放射線技師会研修センター)

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

⑤第1回災害対策研修会

テーマ：緊急被ばく医療研修会－3.11を風化させないために－

日 時：2026年3月14日(土) 13:00～16:30

場 所：東京都診療放射線技師会研修センター

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

⑥城西支部研修会

テーマ：診療放射線技師に必要なフィジカルアセスメントと検査データ判読の実践

日 時：2026年3月16日(月) 19:00～20:30

場 所：Web配信

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

⑦2025年度下半期国際委員会学術交流

テーマ：ソウル特別市放射線士会(SRTA)との学術交流

日 時：2026年3月19日(木)～3月22日(日)

場 所：COEX 会議センター

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

⑧2025年度下半期国際委員会インターナショナルセッション

テーマ：2026 SRTA学術大会

日 時：2026年3月21日(土)

場 所：COEX 会議センター

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

2) 次期選挙管理委員選出について

鈴木雄一 総務委員長：

各支部委員長に次期の選挙管理委員会の委員の候補を挙げていただきたい。次年度の代議員、それから役員の選挙に関する対応についての承認をお願いしたい。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

3) 臨時総会開催について

※議案内容・日時・開催場所・開催方法を含め決定
鈴木雄一 総務委員長：

定款の理事定員を「15名以上20名以内」から「21名」に増員するため、臨時総会を開催する。

公益社団法人法の要請による外部理事1名の追加と、編集担当理事1名の新設に対応するためである。

日 時：2026年2月5日(木) 18時30分開始

場 所：Web

議 案：定款改正案

：役員報酬規程改正案

なお、当日出席できない代議員より委任状の提出を受けるものとする。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

4) SRTAへの派遣演題について

桐 洋介 国際委員長：

2026年3月に韓国ソウルで開催されるSRTA学術大会へ派遣する演者として、応募者の中から2名が選出した。選考は学術委員会の協力のもと、査読を経て決定された。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

5) 令和7年度新宿区女性の健康週間イベント「なるなるフェスタ」について

野口幸作 副会長：

新宿区が主催する女性の健康習慣イベント「なるなるフェスタ」への協力依頼がある。放射線で何が見えるか、何が検査できるかといった内容をステージイベントで紹介する企画、マンモグラフィの触診体験ブースの設置が提案されている。この協力に関して、会としての経費負担はなく、交通費などは主催者側から支出される。イベントの開催日は2026年3月7日であり、広報については、パンフレットが完成次第、会のパイプラインに掲載する形で進める。実務的な協力内容としては、広報委員会の協力を得て、通常の広報活動で用いるマンモグラフィ関連のパネルなどを活用する予定である。

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

6) 新入退会について

11月：新入会9名、転入2名、転出1名、退会17名

【承認：19名、保留：0名、否認：0名】

地区質問、意見

第3地区：

地区研修会や支部研修会などSNSを利用した広報は効果が見込まれると思います。関心を引くようなパンフを作成し掲載してはどうか。

江田哲男 会長：

執行部でもSNS活用の有効性は認識しているが、公益法人として一定のルール作りが必要である。以前、情報委員会でSNSに関するポリシーの叩き台が作成されており、審議が止まっている状態である。今後、このポリシー案の検討を急ぎ、理事会の承認を得た上でSNS活用を開始していく方針である。活用が検討されているSNSとして、FacebookやInstagramが挙げられる。個人のサイト(例：ラジクル)への掲載については、公益法人として適切かどうかの議論があり、どうゆうものが公益法人として適しているかを含めて規定を詰めていく必要がある。

第4地区：

11月理事会で承認を受けた場合、11月通信費分からの変更が通常かと思うが、4月から遡る理由をお聞かせいただきたい。また、臨時総会などで採決を得る必要はないのか。令和7年度総会にて予算案が可決されているが、会計規定などは大丈夫か？理事会承認のみで大丈夫なのか。来年度以降の事業で、頑張ってくれている地区委員に対しての誠意を示してほしい。

江田哲男 会長：

通信雑費の減額と4月からの遡及適用については、先月の理事会で経緯を説明し、承認を得ている。年会費や定款の変更とは異なり、通信雑費の変更は理事会の承認のみで問題ない。財政状況の悪化を抑制することが会員への最大の誠意であると考えており、コロナ禍後の状況変化による計画の見直しが必要である。地区委員への説明については、執行部も出向いて協力する。

第6地区：

執行部のみが通信雑費を辞退するのはいかがなものか。総会で選ばれた理事が赤字の補填をする前例を作るべきでは無いと考える。経費の削減や事業の見直しなどで改善を行い、技師会活動の価値や活性

化を図る事が大切であると考える。

江田哲男 会長：

執行部の辞退は、個々の考えに基づく総意であり強制ではない。これは犠牲的な姿勢を示すものではなく、あくまで一人ひとりの思いの結果である。現状は支出を抑制し、次年度は適切な事業計画をもとに歩んでいきたいと思う。理解をお願いしたい。

第8地区：

令和6年度の収支報告において前年度比で支出が約500万円増加した経緯と今後の対応策を総会以外でも会員に説明することで、本会の透明性と信頼を確保し円滑な運営を担保するために五役会にて検討し実行していただけないか。

江田哲男 会長：

500万円の赤字については、6月の総会で代議員に説明済みであり、代議員制度を通じて会員に周知されている。理事会でも繰り返し説明しており、要望に応じて作成した説明資料「財政状況の現状と今後に向かた見直しについて」の活用をしていただきたい。今後は、次年度に向けて魅力ある事業展開を計画することに注力したい。会員のご協力とご理解をいただきたい。

連絡事項

高野修彰 渉外委員長：

例年通り、小野賞の推薦の検討をしていただきたい。様式に関しては運営メールで送らせていただく。各委員会で推薦をお願いする。締め切りは1月15日までとさせていただきたい。

岩井譜憲 編集委員長：

会誌原稿の提出期限について、月末となっているので期限前に提出をお願いしたい。理事会の事業申請と同時に、会誌原稿も提出していただきたい。皆さまのご協力をお願いしたい。

市川篤志 学術委員長：

ウインターセミナーに関して、会誌では15時から16時半までと掲載されたが、15時から17時半までの誤りであった。参加登録者には時間延長の連絡を行った。ペイシェントケア学術大会に関して、近々実行委員を選出する予定である。当日は一橋講堂前に8時半集合で、ミーティング後9時から受付開始予定である。午前中に一般演題発表を行い、午後に専門部委員会の企画講演などを行う。その他、ワクチン接種

の実技講習も現地で行う予定である。皆さんには参加の広報をお願いしたい。

野口幸作 副会長：

ワクチン接種の実技講習は、eラーニングを受講済みの方が対象となる。当日受講済みか確認する。

来年開催予定の東京放射線医療学術大会に関して、ポスターが完成し、実行委員が選出されたので報告する。会誌掲載は東京支部と合わせて行う。

江田哲男 会長：

東京放射線医療技術学術大会に関しては、野口副会長が実行委員長となった。実行委員は日本放射線技術学会東京支部と同様の形式として、適材適所の材を配置する。来年、ペイシエントケア学術大会は開催しない予定である。演題募集もあるので、皆さんのご協力をお願いしたい。

木暮陽介 庶務委員長：

新春のつどいについてご案内する。1月9日金曜日、18時集合で18時30分から受付開始、19時開演し20時30分終演で例年通りの予定である。スタッフに関しては、改めて理事及び委員長の皆さんにお伺いさせていただく。皆さんへのお願いとして、各地区から例年よりさらに2名ほど多くご参加していただきたいと考えている。企業の方々には庶務委員会からお声がけし、昨年は30名ほどだったが、今年は50名ほどの参加を見込んでいる。合計180名の参加を目指しているので、各地区でお声がけをお願いしたい。

江田哲男 会長：

甲状腺簡易測定研修について、来年2月7日、8日

の2日間にわたって開催される。本研修は原子力発電所が設置、もしくは隣接している都道府県に在住および在職している方が受講対象となる。國の方針により、放射線のスペシャリストである診療放射線技師を多く活用することになっている。特に東京都は技師人数も多いため、QST および原子力規制庁から多数の参加を打診されている。ぜひ基礎講習及び実技講習に各地区から7名ほどご参加をお願いしたい。12月14日が申し込み締め切りとなるので、ご協力をお願いしたい。なお、受講料は無料で交通費は支給される。また通信雑費に関して、Webと対面の2つの形式がある。Web開催の場合は、通信雑費のみで交通費は発生しない。対面開催の場合に、参加が難しく急遽Webでの参加となった際は、通信雑費は支払われないのでご理解いただきたい。

鈴木雄一 総務委員長：

次年度の事業計画案をエクセルファイルで送付するので入力をお願いしたい。提出期限は12月31日までとするので、期間が短いが皆さんのご協力をお願いしたい。またGoogleカレンダーに関して、実際の運用に向けて進めていきたい。

今後の予定について（総務委員会）

鈴木雄一 総務委員長：

運営幹事会が12月17日、25日に専門部委員会が開催される。年末年始の事務所に関しては12月26日が締め日、事務所開きは1月5日となる。

以上

公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回	
開催日	年 月 日() ~ 月 日()	
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック	
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [] 県	
ふりがな		
氏名		
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 []	
	TEL (必須)	
	FAX	
	メール (PCアドレス)	
備考		

FAX 03-3806-7724
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所

技師会に入るなら今がチャンス!!

新入会無料キャンペーン

令和8年度まで延長決定!!

東京都診療放射線技師会費

新卒・既卒問わず

入会費5,000円

▶ 0円

しかも

技師免許取得年度に入会すると…

日本診療放射線技師会 (JART) 入会費

入会金5,000円+初年度会費14,000円も0円

技師会に入ると何ができる?

- ・付帯保険に加入出来る
- ・会誌が定期的に届く
- ・会員価格で勉強会に参加できる

まだまだ情報が沢山! 詳細はこちら→

 公益社団法人 東京都診療放射線技師会



Postscript

東

放技の毎年恒例となり今年は
今月末に開催されるペイシェ
ントケア学術大会。昨年より一般発表
を取り入れ東放技オリジナルの学術大
会として発展してきました。来年は日
本放射線技術学会東京支部との合同学
術大会の中で開催される予定です。

抄録の編集作業をしていますが、技
師会ならではの演題も多く、技術学会
との合同学術大会で発表する意義は大
きいと思います。ただ発表の機会が少
なく、演題内容について相談できる環

境がないのではないかと思われるもの
も見受けられます。プラッシュアップ
すれば非常に良くなるのに、と思うも
のもあります。身近に相談できる環境
のない場合は、ご相談ください。アド
バイスはできるかと思いますし、そう
して作り上げた演題を更に合同学術大
会の中で技術学会の皆さまと討論する
ことで、日常教務の改善につながるか
かもしれません。せっかくの機会です、
よりよいものにしていきませんか。

すえぞう



東京放射線 第73巻 第2号

令和8年1月25日 印刷 (毎月1回1日発行)

令和8年2月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505
〒116-0013 公益社団法人東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人東京都診療放射線技師会

会長 江田 哲男

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <https://www.tart.jp/>

印刷・製本 株式会社キタジマ

事務所 執務時間 月曜～金曜 8時30分～16時00分

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日は執務いたしません

TEL・FAX (03) 3806-7724

編集スタッフ

岩井譜憲

森 美加

田沼征一

志田晃一

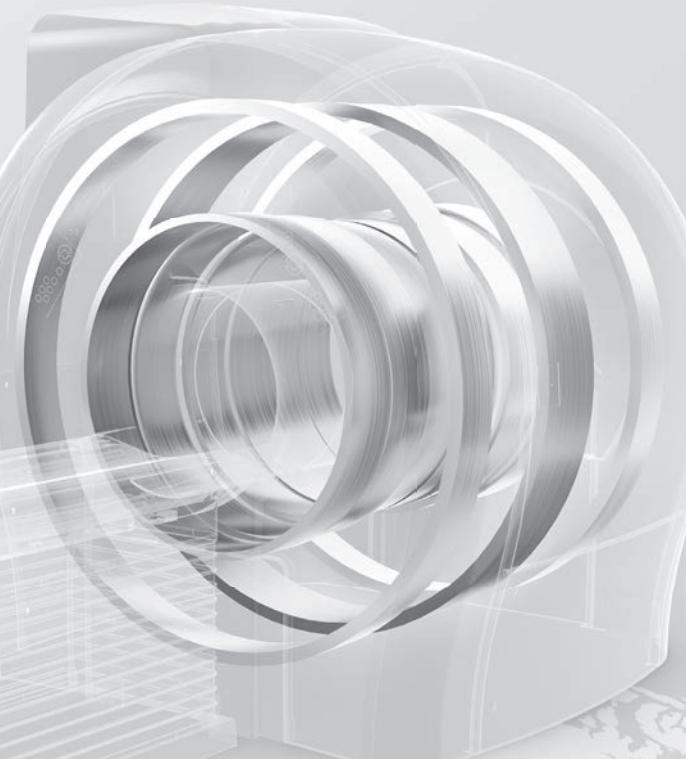
浅沼雅康
(担当副会長)

FUJIFILM
Value from Innovation

液体ヘリウムを まったく使わない 超電導MRI

専用の冷却機構を持ったZeroHeliumマグネットと
磁場コントロールシステム“ZeroHeliumテクノロジー”を採用。
液体ヘリウムをまったく使用せず、極低温状態を維持します。
液体ヘリウムによるクエンチ爆発※は発生しません。

「ZeroHelium」で吸着事故や災害時への不安、
復旧にかかる時間とコストの低減へ。



ECHELON Smart ZeroHelium

REiLI

※超電導状態を失った時の爆発的なヘリウムの放出を表現しています

製造販売業者

富士フィルム株式会社

販売業者

富士フィルムメディカル株式会社

〒106-0031 東京都港区西麻布2丁目26番30号 富士フィルム西麻布ビル

fujifilm.com/fms/

販売名：MRイメージング装置 ECHELON Smart 認証番号：229ABBZX00028000

●FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フィルム株式会社の登録商標または商標です。●この広告に記載されている会社名、商品名は、富士フィルム株式会社またはグループ会社の商標または登録商標です。●ECHELON Smart ZeroHeliumはZeroHeliumマグネットを搭載したモデルの呼称です。●仕様および外観は予告なく変更されることがあります。●本製品では一部再生資源を使用する場合があります。

〒二六〇〇三
荒川区西日暮里二一二二一五〇五
発行所
公益社団法人 東京都診療放射線技師会
TEL・FAX(03)3806-7724

印刷所

東京都墨田区立川二十一一七
株式会社 キタジマ

定価

金四二〇円(税込)